

PLAN OYAMA
Vision to 2054

目次 Contents

Chapter 1 -		Chapter 4 -	
はじめに	3	エリアの将来像	31
背景と目的	4	1. 思川エリア	32
プランの位置付け	5	2. 城山公園エリア	33
プラン策定までの歩み	6	3. 御殿広場エリア	34
市民参加プロセス	7	4. 祇園城通りエリア	35
アンケート	8	5. 西口広場エリア	36
ワークショップ	9	6. ロブレエリア	37
デジタルプラットフォーム	10	7. 東口広場エリア	38
		8. 駅東公園エリア	39
Chapter 2 -		9. 城東公園エリア	40
プランのエリア	12		
エリアの課題	14	Chapter 5 -	
		ビジョンを実現するアクション	43
Chapter 3 -		プラン推進組織の設立	47
エリアのコンセプト	19	EvolvingGoalsを達成する111のプロジェクト	48
まちづくりの目標 - Evolving Goals	20	リーディングプロジェクト	49
1 居住 まちなかに住んで子育てしやすい	21	リーディングプロジェクトのロードマップ	50
2 仕事 自分らしく働きやりたいことにチャレンジできる	22	検討委員会からのメッセージ	51
3 遊び 子供・学生・大人もまちなかで遊べる	23		
4 交通 車やおーバスで移動しやすく周辺と繋がる	24		
5 移動 バリアを感じず安心して安全に歩きたくなる	25		
6 コミュニティ 世代・性別・国籍を超えたコミュニティの場と繋がりがある	26		
7 緑化 身近に緑を感じリラックスできる	27		
8 自然 思川を活かし自然に触れて学んで暮らせる	28		
9 文化 小山の食・文化・アートに触れられる	29		

PLAN OYAMA

Chapter 01

はじめに
背景と目的
プランの位置付け
プラン策定までの歩み
市民参加プロセス
アンケート
ワークショップ
デジタルプラットフォーム

PLAN OYAMA（プランオヤマ）は、小山駅周辺エリアの2054年までのまちづくりビジョンとして作成しました。2054年は小山市制100周年の節目の年であり、プランを策定した2023年に生まれた子どもは30代になっています。そのとき、小山駅周辺エリアはどのようなになっているのでしょうか？

「こんな夢計画は無意味。現実を見ろ。」「予算はあるのか。誰がやるのか。」。プランを見た人の中には、このように思う方もいるかも知れません。プランの全てを実現するのは困難かもしれませんし、整備にはお金が付きものです。

しかし、まちづくりで大切なのは“ブレずに継続して取り組むこと”であり、そのためにまず必要なのは、実現性や予算ではなく、小山で暮らし、学び、働く私たちが、“小山をどうしたいのか。そのために何をするのか。”をビジョンとして明確にし、エリアで共有することだと考えています。また同時に、市民性を高めていくことも重要です。小さなことから市民一人ひとりが意識して取り組めることは沢山あります。「花火大会後にゴミひとつ無い駅前にしよう」。そんなことから誰もが少しずつアクションできるまちならば、プランの実現も夢では無いような気がしませんか？



全米一住みたい都市として有名なポートランドは、1960年代は車中心となったダウンタウンを人が歩かなくなり廃れていましたが、明確なビジョンを掲げて戦略的に取り組み続け、今の姿となりました。日本有数の大都市である横浜市は、1970年代からまちづくりの目標を定めて都市デザインに取り組み続け、現在の高質な都市空間を形成しています。昨今では、前橋アーバンデザインを策定した前橋市のように、地方都市でもビジョン設定型のまちづくりが動き始めています。

私たちが、そしてプランを手にした人々が、2054年のゴールを目指しまちづくりのボタンを繋いだ先に、どのような小山駅周辺エリアとなっているのか、今からとても楽しみです。

2023年5月22日
まちづくりプラン検討委員会



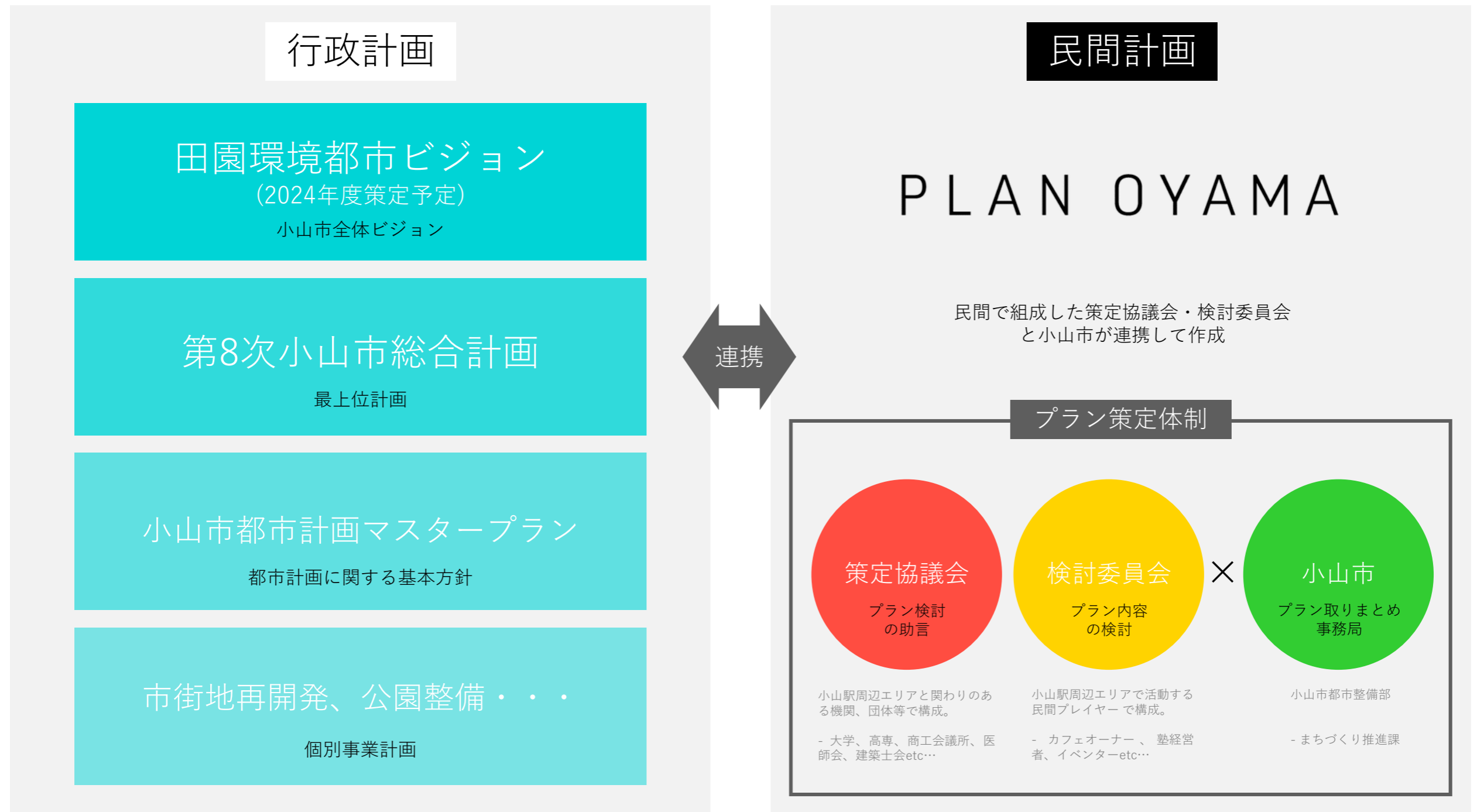
小山駅周辺エリアは、古くから小山市における政治、文化、商業の中心として発展してきた地域です。鎌倉時代に下野国の守護を担っていた小山氏が居城を構え本拠地とし、江戸時代には日光街道の宿場町となったことや思川を活用した舟運によって栄えました。明治時代になり小山駅が開業し、東北本線・両毛線・水戸線が結節する物資の集積地となり、現在の駅東口には森永製菓や日本製粉の工場が立地していました。

近年では、駅東口に白鷗大学が立地したほか、駅東西を繋ぐ中央自由通路や駅東口新駅前広場の整備による利便性の向上、市街地再開発事業による居住人口の増加が図られている一方で、商業ビルの空洞化や、空き家や駐車場などが散見される都市のスポンジ化が進み、かつての賑わいが失われている状況です。

人口減少が進む縮小社会において、現状を改善し、日々変化する社会情勢に対応しながら都市として持続していくためには、従来の行政主導のまちづくりではなく、市民や企業、団体などの民間と行政が長期的なビジョンを共有しながら連携し、エリア全体でまちづくりに取り組むことが重要となってきています。

そこで、2021年3月に民間の策定協議会・検討委員会が設立され、小山市とともに取り組む“(仮称)小山駅周辺地区まちづくりプラン策定プロジェクト”が始まり、「民間と行政が共有する小山駅周辺エリアの長期ビジョンを示し、“自分ごと”としてまちづくりに取り組むための指針とすること」を目的として、2023年5月にPLAN OYAMA (プランオヤマ) を取りまとめました。

プランオヤマは、小山駅周辺エリアが2054年までに目指す姿を取りまとめた、民間の長期まちづくりビジョンであり、民間（企業、団体、市民、通勤・通学者など）と行政（小山市）が共通のビジョンのもとで“自分ごと”としてまちづくりに取り組むための指針となるものです。行政計画への位置付けはありませんが、適宜連携しながら、公共事業や民間開発の企画立案の種として、まちに対する想いを仲間と共有するツールとして、時代に合わせてアップデートを繰り返し、既存の枠組みにとらわれず柔軟に活用されることを期待しています。



2021	03.25	策定協議会・検討委員会設立
	06.23	第1回策定協議会・検討委員会
	07.07 -08.30	小山駅周辺エリアまちづくりアンケート
	09.15	第2回検討委員会
	10.05	第2回策定協議会・第3回検討委員会
	10.22	第4回検討委員会
	11.22 -11.23	小山駅周辺エリアまちづくりワークショップ
	12.16	第5回検討委員会
2022	01.12	小山駅周辺都市再生整備促進会議
	01.24	第6回検討委員会
	02.07	第3回策定協議会・第7回検討委員会
	03.22	小山駅周辺まちづくりシンポジウム
	04.25	第8回検討委員会
	04.28	小山駅周辺都市再生整備促進会議（課長会議）
	05.20	第9回検討委員会
	05.20	小山駅周辺都市再生整備促進会議（部長会議）
	05.25	第4回策定協議会
	06.16	第10回検討委員会
	09.22	第11回検討委員会
	10.05	第12回検討委員会
	10.21	まちづくりプラン策定プロジェクト特設サイト開設
11.18 -12.6	将来イメージ意見募集	
12.01	広報おやま12月号特集記事掲載	
2023	01.18	第13回検討委員会
	02.03	小山駅周辺都市再生整備促進会議
	03.20	第14回検討委員会
	05.26	第5回策定協議会・第15回検討委員会
	05.26	PLAN OYAMA策定



アンケートやワークショップ、デジタルプラットフォームで得られた市民意見をもとに、まちづくりの目標、プロジェクト、将来イメージの検討を行いました。

1 アンケート 小山駅周辺エリアまちづくりアンケート

2021.7.7から8.20の期間で、小山駅周辺エリアの「住む」「働く」「遊ぶ」場所としての「充実して欲しいこと」「現在の魅力」について西口エリア・東口エリア別にアンケートを実施。

あなたの答えが街を変える！

小山駅周辺エリア まちづくりアンケート



小山市長 浅野正高

小山駅周辺は、再開発等のマンションが立ち並び発展著しいエリアです。しかしながら、商業施設撤退、空き家・駐車場の増加、交通渋滞など課題もたくさんあります。今年度より、これらの課題を解決するため、小山駅周辺まちづくりプラン作成に着手しました。今回は、計画により多くの市民の皆様からの意見を反映させるため、アンケート調査（第1回）を実施させていただきます。小山駅周辺エリアの何に魅力を感じ、どのようなものを必要としているのかなどをお伺いします。まちづくりには、皆さん一人ひとりのご意見が必要不可欠です。アンケートは項目が多く誠に恐縮ではございますが、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

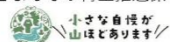
アンケートは小山駅西エリア・東エリアの2種類あります。両エリアへのご回答をお願いします。※両エリアの回答が難しい場合は、あなたがまちをイメージしやすい方を1つ選んでご回答ください。



一次集計 二次集計
回答期限 2021年 7月31日(土) 8月20日(金) 当日消印有効
回答方法 ①紙で回答 ②オンラインで回答 ※①②どちらかの方法でご回答ください

①紙で回答 用紙にご記入いただき、同封の返信用封筒でご郵送ください。
 ②オンライン お手持ちの携帯電話やタブレットから上記のQRコードにアクセスいただき、回答フォームにご入力ください。

事務局 小山市役所 都市整備部 まちづくり推進課 官民連携推進室 まちなか再生推進係
 TEL ▶ 0285-22-9357 / MAIL ▶ d-machidukuri@city.oyama.tochigi.jp
 ※アンケートの結果は市ホームページ等での公表を予定しています



まちづくりの目標

2 ワークショップ 小山駅周辺エリアまちづくりワークショップ

2021.11.22、23で計4回、小山駅周辺エリアの「魅力」「充実して欲しいこと」について「仕事」「遊び」「サービス」「移動」「自然」「コミュニティスペース」のテーマでワークショップを開催。



小山駅周辺エリア まちづくりワークショップ WORKSHOP2021

2021.11.22 Mon / 11.23 Tue 【会場】小山駅周辺施設 ※詳細は通ってお知らせいたします

小山駅周辺エリアの課題を考える
 今回のワークショップでは、グループワーク形式によりグループごとに割り振られたテーマに応じて、小山駅周辺エリアの課題について皆さんで話し合いを行います。

参加対象 小山に興味・関心がある高校生以上の小学生の方、子育て中のママも是非お越しください！
 第1回 2021.11.22 (月) 13:30 - 15:30
 第2回 2021.11.22 (月) 17:30 - 19:30
 第3回 2021.11.23 (火) 10:00 - 12:00
 第4回 2021.11.23 (火) 13:30 - 15:30
 ※参加無料 第1回から第4回は全て内容になります。ご希望の回でお申込み下さい。



参加お申込み方法 | 申込締切：2021年10月17日(日) | 定員：各回30名程度(抽選制)

右記QR(又はURL:https://logoform.jp/form/9Doh/37701)より申込フォームにアクセスしてお申込み下さい

主催：小山市まちづくり推進課 官民連携推進室 まちなか再生推進係 TEL 0285-22-9357 MAIL d-machidukuri@city.oyama.tochigi.jp



プロジェクト

3 デジタルプラットフォーム 小山駅周辺エリアまちづくりプラン策定プロジェクト特設サイト

2022.11.18から12.6の期間で、小山駅周辺エリアの将来イメージ案に対する意見募集をデジタルプラットフォーム(特設サイト)で実施。

小山駅周辺エリアまちづくりプラン策定プロジェクト特設サイト



全体の進捗を見る

新着情報

2023/2/9

【記事公開】皆さんからの意見を踏まえたプラ

将来イメージ

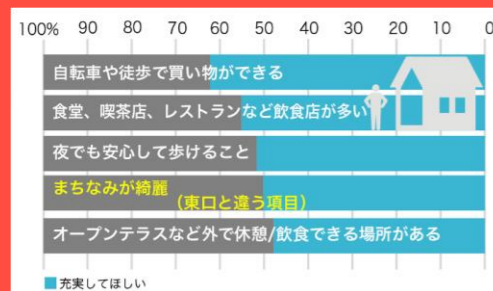
1 小山駅周辺エリアまちづくりアンケート

小山駅周辺エリアの「住む」「働く」「遊ぶ」場所としての「充実してほしいこと」「現在の魅力」について、西口エリア・東口エリア別にアンケート調査を実施しました。2021.7.7から8.20の期間で、10代から80代の1800名の方に回答いただきました（西口エリア906名/東口エリア906名）。

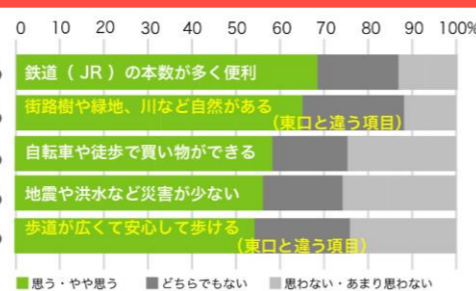
■小山駅周辺エリアの「住む場所」としての印象

「住む場所」として、小山駅周辺の「充実してほしいこと」「現在魅力に感じること」に関する19項目のうち上位5項目

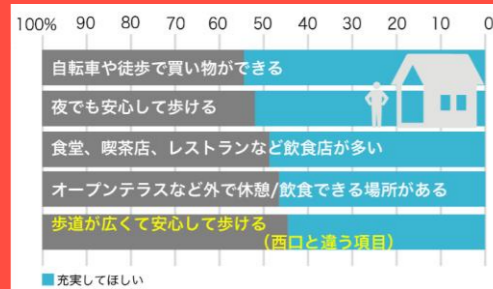
あなたが望む西口ランキング



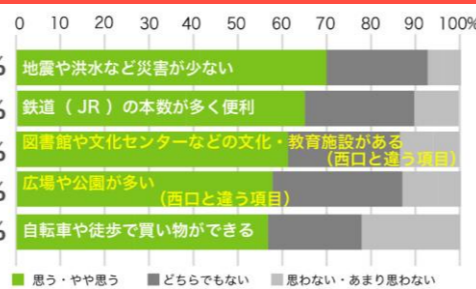
あなたの現在の評価



あなたが望む東口ランキング



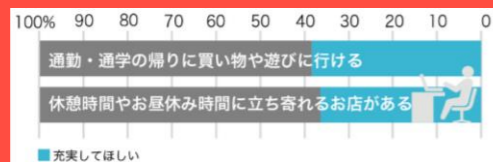
あなたの現在の評価



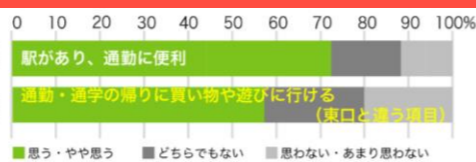
■小山駅周辺地区の「働く場所」としての印象

「働く場所」として、小山駅周辺の「充実してほしいこと」「現在魅力に感じること」に関する6項目のうち上位2項目

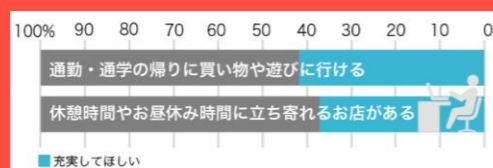
あなたが望む西口ランキング



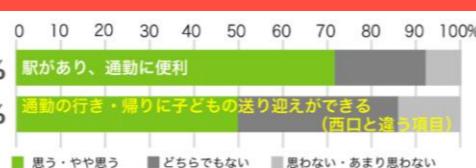
あなたの現在の評価



あなたが望む東口ランキング



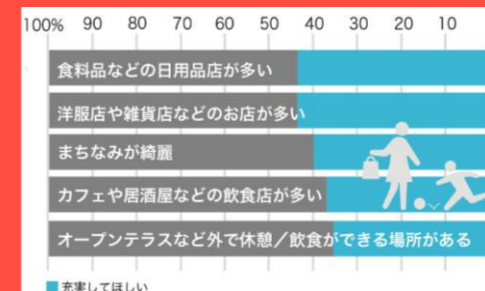
あなたの現在の評価



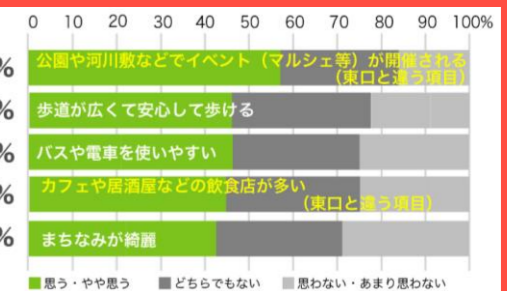
■小山駅周辺エリアの「遊ぶ場所」としての印象

「遊ぶ場所」として、小山駅周辺の「充実してほしいこと」「現在魅力に感じること」に関する16項目のうち上位5項目

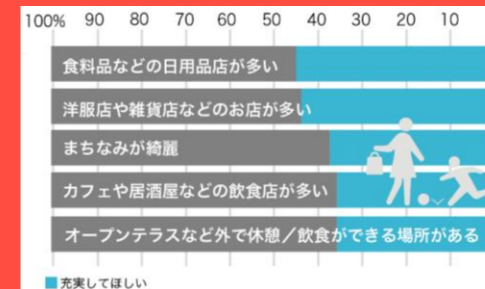
あなたが望む西口ランキング



あなたの現在の評価



あなたが望む東口ランキング



あなたの現在の評価



■小山駅周辺地区の「将来像」

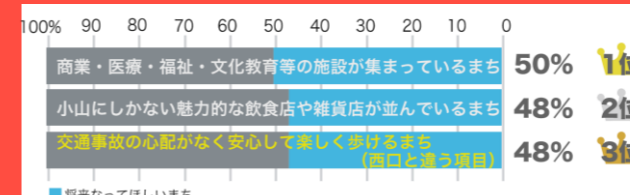
小山駅周辺が「将来どんなまちになってほしいか」に関する11項目のうち上位3項目

小山駅西口エリア



チェーン店が少ない西口エリアの特徴をさらに伸ばす、「小山にしかない魅力的な飲食店や雑貨店がある」が1位。東口との違いは「クルマに頼らず徒歩・自転車・バスだけで移動できる」が3位となった点。

小山駅東口エリア



様々な施設が整備されている東口エリアの特徴をさらに伸ばす、「商業・医療・福祉・文化教育等の施設が集まっているまち」が1位。西口との違いは「交通事故の心配がなく安心して楽しく歩けるまち」が3位となった点。

2 小山駅周辺エリアまちづくりワークショップ

小山駅周辺エリアの「魅力」と「充実してほしいこと」について「仕事」「遊び」「サービス」「移動」「自然」「コミュニティスペース」の6つのテーマに分かれグループワークを実施しました。2021.11.22、23の二日間で計4回実施し、10代から70代の85名※の方に参加いただきました。（※見学者6名含む）

■小山駅周辺エリアの「魅力」と「充実してほしいこと」

テーマ別グループ発表内容を記録したグラフィックレコーディング

The graphic recording sheet is organized as follows:

- Top-Left Panel:** Title page for the workshop, including the date (2021.11.22, 23) and the location (Oyama Station area).
- Top-Right Panel:** Focuses on '遊び' (Play) and 'サービス' (Service), with notes on youth activities and local services.
- Middle-Left Panel:** Focuses on '仕事' (Work) and '移動' (Movement), discussing job opportunities and transportation options.
- Middle-Right Panel:** Focuses on 'サービス' (Service) and '移動' (Movement), highlighting community services and transit improvements.
- Bottom-Left Panel:** Focuses on 'コミュニティスペース' (Community Space) and '自然' (Nature), discussing public spaces and greenery.
- Bottom-Right Panel:** Focuses on 'コミュニティスペース' (Community Space) and 'サービス' (Service), discussing shared spaces and local amenities.



3 小山駅周辺エリアまちづくりプラン策定プロジェクト特設サイト

9つのスモールエリア（思川、城山公園、小山御殿広場、祇園城通り、ロブレ、西口広場、東口広場、駅東公園、城東公園）の将来イメージ案に対する自由意見をデジタルプラットフォーム（特設サイト）で募集しました。2022.11.18から12.6の期間で、20代から80代の方に192件※の意見をいただきました。（※ピクニックマルシェでの意見も含む）

■将来イメージ案に対する自由意見

小山駅周辺エリアの将来イメージ案と自由意見（抜粋）



思川エリア

- ・思川の流れる景色が大好きです。夕暮れ時は特に綺麗です。この景色をゆっくり眺められるカフェがあったら最高です。
- ・自然を残すエリアはしっかり残し、球技用グラウンドなどがあるのが良いかなと思います。サイクリングコース、ジョギングコースもあると良いかも。



城山公園エリア

思川やその先にある日光の山、それらが一望できる素晴らしい立地。栃木の大きな風景として捉えて、季節を感じることでできる公園になると良いと思う。小山の風土や歴史を感じられるダイナミックな景観になると嬉しい。



小山御殿広場エリア

- ・屋根が無いので、人が休むことができず集まりにくいのだと思う。椅子より先に木陰や屋根を設えられるといいのでは。
- ・木陰やベンチやテーブルが欲しい。土日に子供が遊びながら学べる野外教室などが広場であったら良いと思う。野外映画もいいと思う！

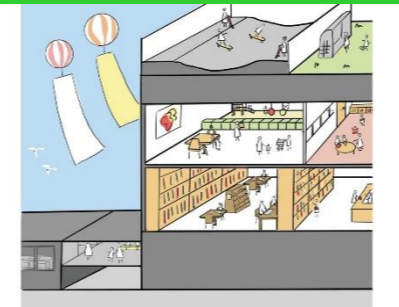
祇園城通りエリア

週末ホコ天ストリート、イメージ図含めとても魅力的です。街灯は足元にも設置すると更に歩きやすくなると思います。駅西口のロータリーがなくなるなら自家用車の通行も減る事が予想されるので、宇都宮や大宮のように車線を減らし自転車道等を作る未来も検討して欲しい。



ロブレエリア

駅前に図書館や勉強スペース、併設カフェができるのはとても良いと思います。カフェは値段によっては気軽に入れなかったりするので、学生でも入りやすい価格帯だとよいのでは。全てを勉強スペースにするのではなく、会話や食事OKなスペースもどこかに残して欲しい。



西口広場エリア

新しい駅前の活用イメージ、とても雰囲気良くて人が集まる空間になる予感があります。今利用している層がどうか？ではなく、どういった人たちに集まってほしいか、という観点でないと今までの利用者が先細りしている現状から変えることはできないと、改めて思います。



東口広場エリア

駅東口のイメージとしては、とても理想系だと思います。なかなか駅前に集える場所がないので、芝生ではなくても広場と明るい環境が必要だと思います。治安の安心感からも、夜でも明るいことが重要かと。今は自転車と歩行者の動線が混ざって危ないので分けて欲しいです。



駅東公園エリア

- ・キレイに整備して汽車があるメリットを活かると良いですね！色々な世代が気軽に過ごせる明るい公園になると良いです。
- ・公園北側道路は交通量が多く危ない思いをしたこともあるので一方通行と公園を歩道に利用するアイデアは感心しました是非実現してもらいたいです。



城東公園エリア

池を作るならジャブジャブ池にして欲しい。駅付近はマンションが多く、プールがない家も多いので夏場、抛り所がない家族はかなりキツイ。綺麗なジャブジャブ池があって、お昼はカフェで、そのあと図書館に行けると小さい子供の子育て世代は相当有難いです。

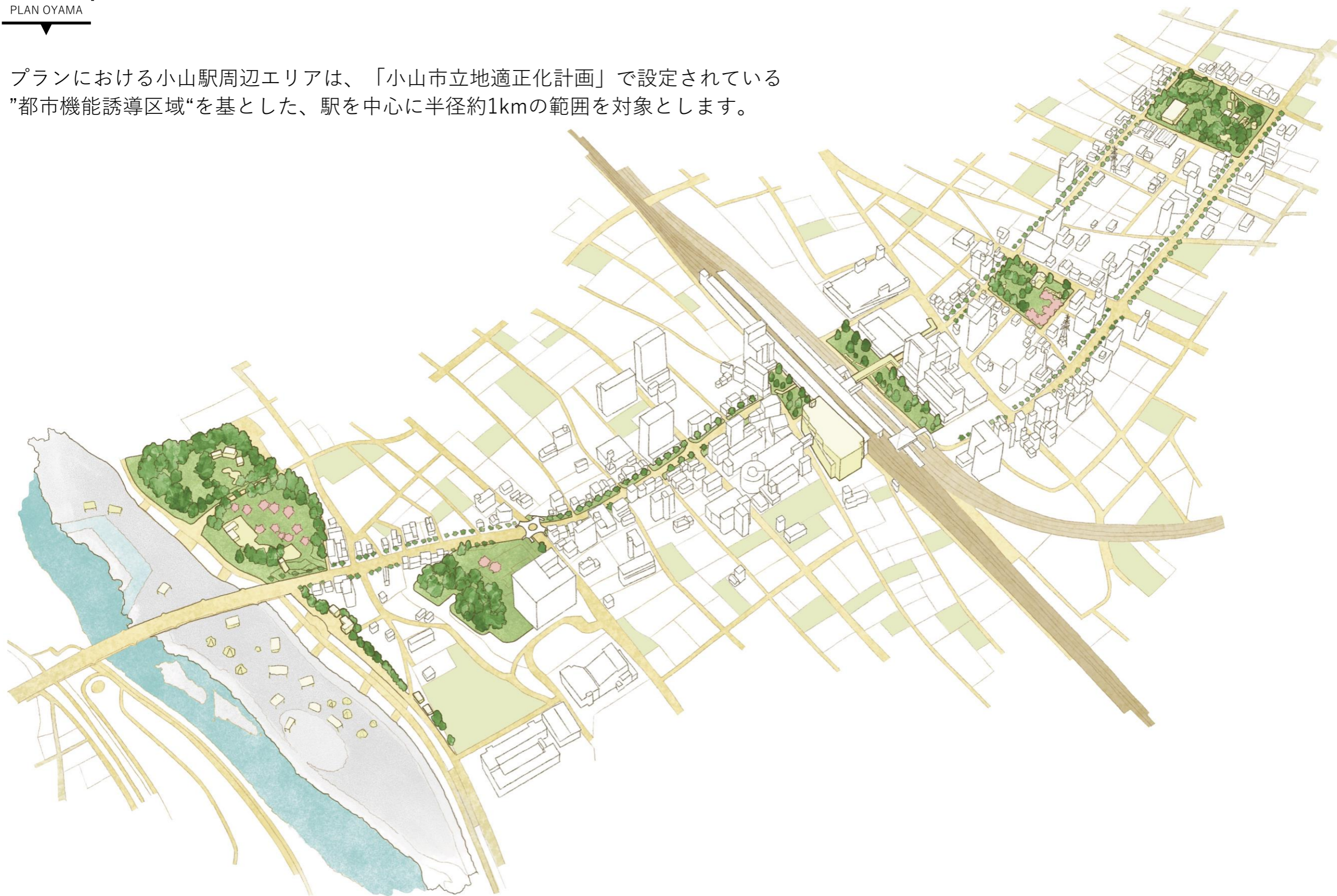


PLAN OYAMA

Chapter 02

プランのエリア
エリアの課題

プランにおける小山駅周辺エリアは、「小山市立地適正化計画」で設定されている”都市機能誘導区域“を基とした、駅を中心に半径約1kmの範囲を対象とします。





土地利用の課題

- <空き家、空き地の増加>
- <散在する駐車場>

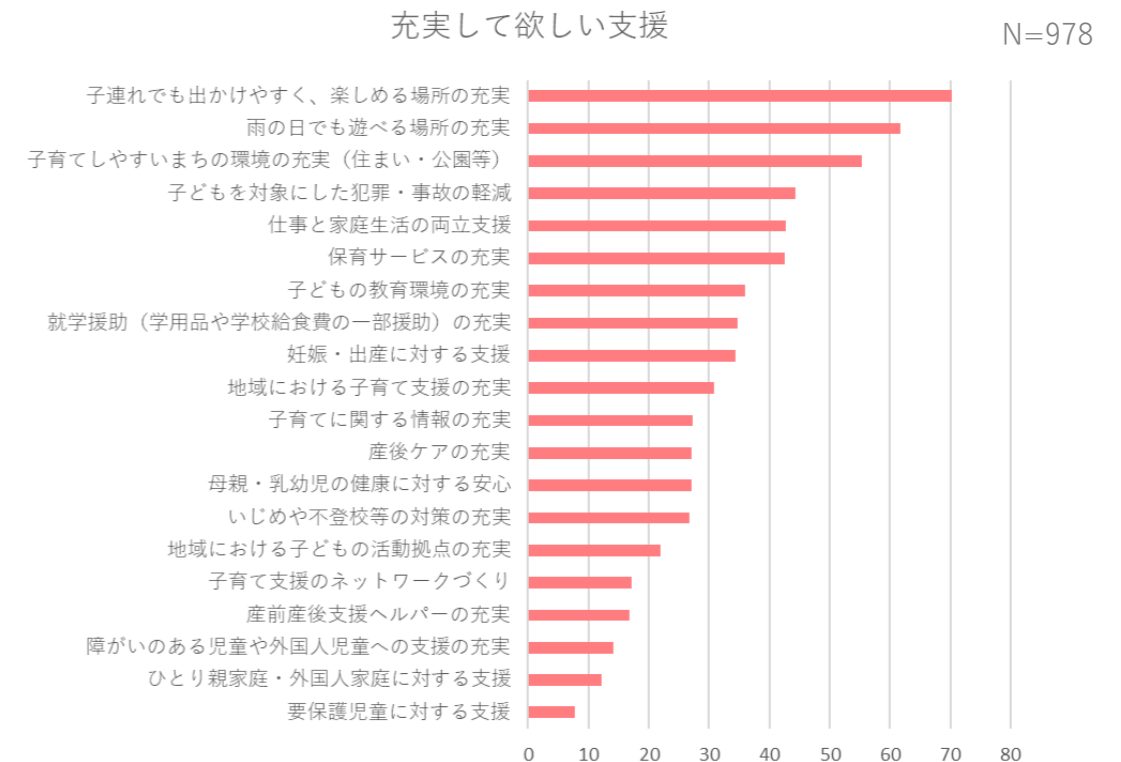


まち歩きで確認した小山駅西口エリアの土地利用状況は、空き物件が169件、空き地が12件、駐車場が134箇所であり、エリアに散在することで都市のスポンジ化が進行しています。都市機能が集約し利便性が高いまちなかの土地は貴重な空間資源であるため、これらの資源を有効活用した、効率的な住宅の供給や、消費や雇用機会、コミュニティの場が継続的に生まれる仕組みを作ることが、まちの賑わいを生むためには重要であると考えられます。



子育て環境の課題

- <子供を連れて出かけることのできる楽しめる場所の不足>
- <共働き家庭の保育ニーズに合った保育環境の不足>

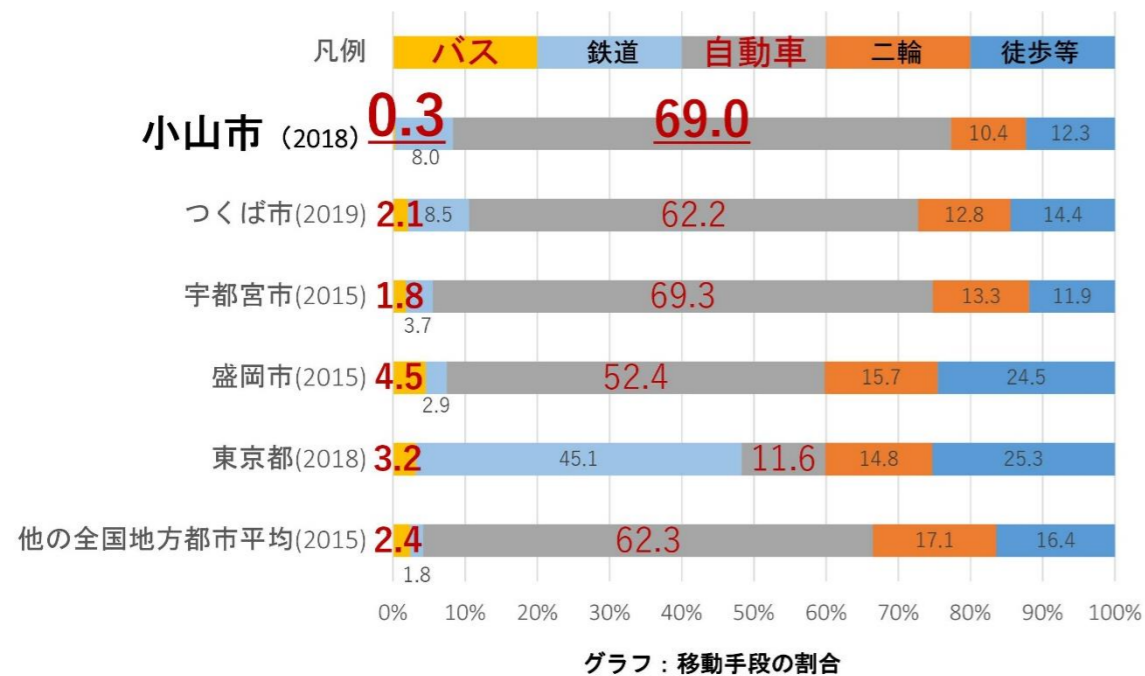


「小山市子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査（2018）」では、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所」「雨の日でも遊べる場所」「子育てしやすいまちの環境（住まい・公園等）」「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」「仕事と家庭生活の両立支援」が充実して欲しい支援として回答が多く、子供が楽しく安心して過ごせる環境や、様々なライフスタイルに対応できるような柔軟な支援が求められています。



交通と移動の課題

- < 移動手段の不足、自動車への依存 >
- < 物理的な障壁や心理的隔たりにより歩きづらい歩行空間 >

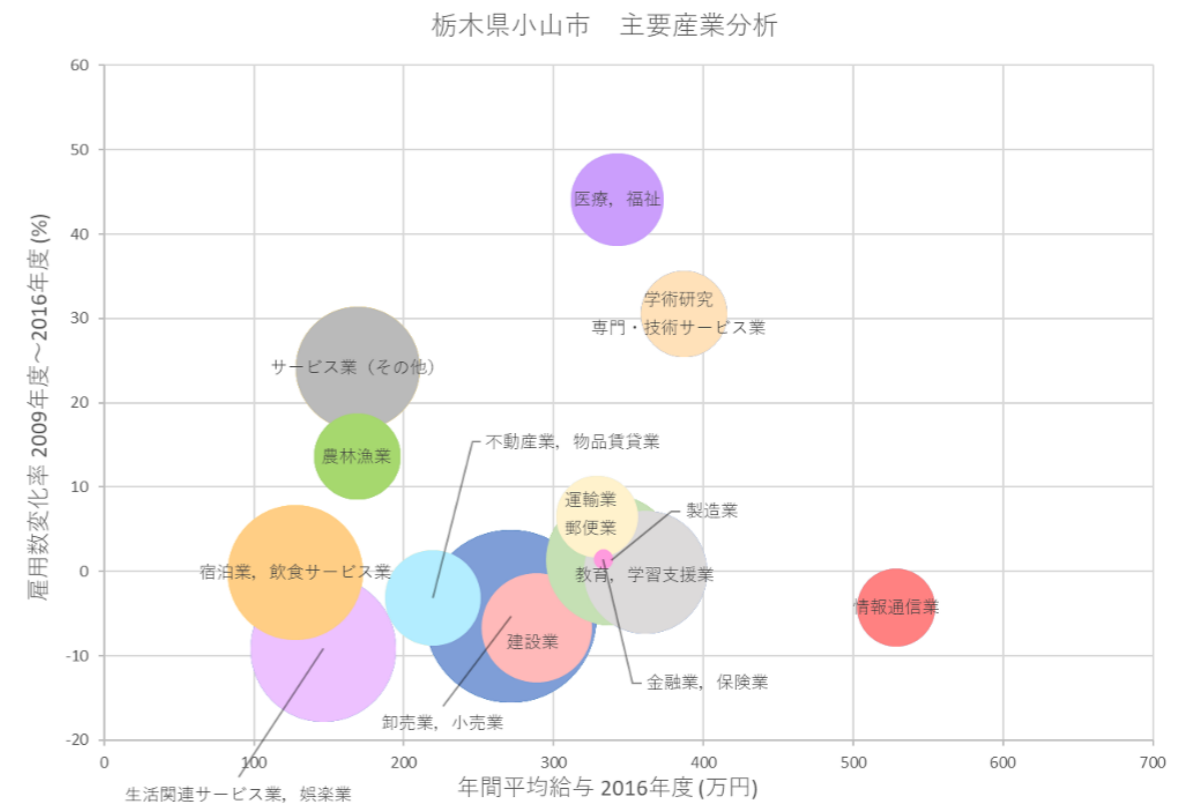


「小山市パーソナリティ調査（2018）」によると、小山市民の移動手段は自動車が約7割を占め、特に高齢者の自動車による移動が増加傾向にあります。一方で、バスの利用割合は0.3%と低く、これは、全国の地方都市や同規模都市と比較しても低い割合です。また、市内各地域から中心市街地への移動手段のうち、近隣地域でも自動車が約5~7割を占めており、自動車へ依存している状況です。自家用車を持たない人の移動手段やまちなかの安全な交通環境を確保していくためには、多様な移動手段の導入が必要であると考えられます。



仕事の課題

- < 均一的な雇用形態と産業 >
- < 新しいコンテンツが生まれにくい環境 >

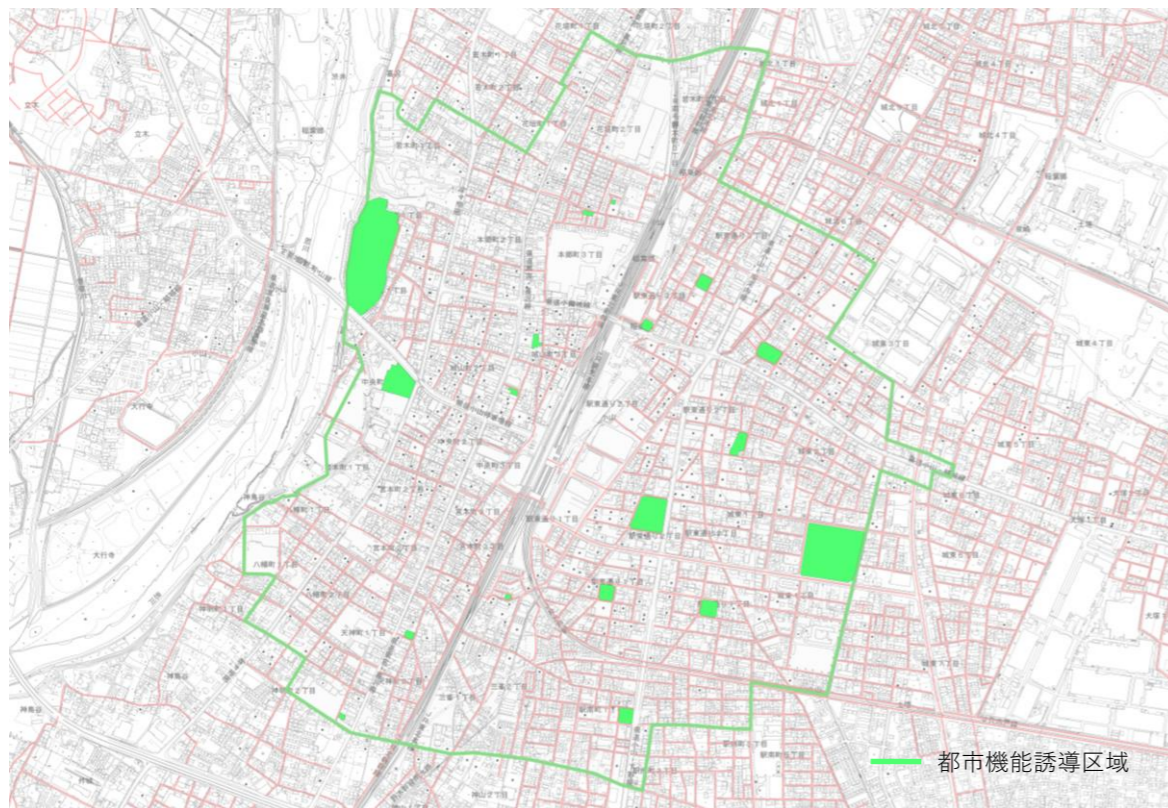


小山市全体で雇用形態と産業が均一的となっており、時代の変化に対応していくためには、フレキシブルな成長産業（ICT、デザイン、通信、電子機器、医療機器・研究等）への転換を促していく必要があると考えられます。また、地元根ざした小規模事業者への多様な成長支援をすることにより、小山独自の商品やサービスを作りながら雇用機会を創出し、次世代の仕事の推進や個人事業にチャレンジしやすい環境を形成していくことが必要であると考えられます。



緑の課題

- <緑のネットワーク不足>
- <公共施設・公園のハード整備>



小山市の都市機能誘導区域（341.6ha）内の公園面積は29ha、割合は8.5%となっています。それらは単体としての役割にとどまっており、広域での繋がりが不足しています。公園や緑地は、レクリエーションや憩いの場として暮らしを豊かにするものであるため、公園整備のみならず、街路樹やグリーンインフラ、壁面緑化等を含めた面的な緑のネットワークを検討し、防災や環境も意識した都市の緑化を推進していく必要があると考えられます。



PLAN OYAMA

Chapter 03

エリアのコンセプト

まちづくりの目標 - Evolving Goals

- 1 居住 まちなかに住んで子育てしやすい
- 2 仕事 自分らしく働きやりたいことにチャレンジできる
- 3 遊び 子供・学生・大人もまちなかで遊べる
- 4 交通 車やおーバスで移動しやすく周辺と繋がる
- 5 移動 バリアを感じず安心して安全に歩きたくなる
- 6 コミュニティ 世代・性別・国籍を超えたコミュニティの場と繋がりがある
- 7 緑化 身近に緑を感じリラックスできる
- 8 自然 思川を活かし自然に触れて学んで暮らせる
- 9 文化 小山の食・文化・アートに触れられる

Oyama Station Area 2054

大人が遊び、子どもが育つ。

「大人たちが自分らしく働き、遊ぶことができ、子どもたちが伸び伸びと遊び、学べ、成長できるまち」。そんな小山駅周辺エリアをプランオヤマでは目指します。

子どもは小山の未来を担う大切な存在です。子どもは身近な大人の姿を見ながら育ちます。子どもが伸び伸びと成長できるようにするためには、子どものための環境はもちろんですが、大人が生き生きとするような環境も欠かせません。そのような環境をエリアの強みである豊かな自然や交通利便性を活かしながら創出していくことで、子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすく、遊び、働きたくなる、多様な人や文化が集まる魅力的な小山駅周辺エリアが形成されると考えています。

まちづくりの目標 - Evolving Goals

エリアコンセプトの実現に向けて、アンケートやワークショップで得た意見を整理した以下の9つをまちづくりの目標 "Evolving Goals (エボルビングゴールズ)" として設定します。

Evolving Goals (進化していく、進化し続ける目標) は、まちづくりの目標が固定されたものではなく、プランが策定された後も、社会状況の変化に応じて柔軟に変わっていくものであるという意味を込めて名付けました。

1 居住

まちなかに住んで
子育てしやすい

2 仕事

自分らしく働き
やりたいことに
チャレンジできる

3 遊び

子ども・学生・大人も
まちなかであそべる

4 交通

車やおーバスで
移動しやすく
周辺と繋がる

5 移動

バリアを感じず
安全で安心して
歩きたくなる

6 コミュニティ

世代・性別・国籍を
超えたコミュニティの
場と繋がりがある

7 緑化

身近に緑を感じ
リラックスできる

8 自然

思川を活かし
自然に触れて
学んで暮らせる

9 文化

小山の
食・文化・アートに
触れられる

1 居住

まちなかに住んで子育てしやすい

まちなかで便利で快適に暮らすことができ、まち全体で子どもを育てる雰囲気がある環境を目指します。



まちなかに住む人が自家用車や電車で遠出しなくても、図書館のような都市機能や日用品・嗜好品が揃う店舗などの生活機能が身近にあり、併せて、まち全体で子どもを育てる雰囲気や安心して子どもを遊ばせたり預けたりすることができる場所がある、生活面と子育て面が充実した環境を目指します。

2 仕事

自分らしく働きやりたいことにチャレンジできる

様々な世代やライフスタイルの人が、やりたいことや新しいことにチャレンジできる仕組みをつくり、自分らしく働くことができる環境を目指します。



まちなかに点在する空き店舗等で新規事業を開業しやすくなる仕組みやスタートアップ支援を充実し、出店意欲や起業意欲がある若者、新しいことにチャレンジしたい主婦層などを後押しすることで、誰もが自分らしく多様な働き方を選択できる環境を目指します。

3 遊び

子ども・学生・大人もまちなかで遊べる

多様なニーズを満たすコンテンツを充実させることで、郊外まで移動しなくても、子どもから大人まで楽しく遊べる環境を目指します。



祇園城通り・思川のような公共空間や、空き店舗・空き地などの遊休不動産を積極的に活用することで、日々変化するニーズに対応した多種多様なコンテンツを創出し、「まちなかに行けば何かがある」という期待感を持てるような、子どもから大人まで誰もが楽しめる環境を目指します。

4 交通

車やおーバスで移動しやすく周辺と繋がる

ユーザーに合わせた多様な移動手段を充実することで、誰もが目的地へアクセスしやすく、快適で自由度の高い交通環境を目指します。



おーバスなどの既存公共交通の利便性を高めることと併せて、定額制デマンドタクシーや電動キックボード、 グリーンスローモビリティ※などの多様なモビリティの導入・連携を検討し、ソフトとハードの両面から移動手段の充実を図ることで、自家用車を持たない人や免許を返納した人、運転が苦手な人でも気軽に目的地にアクセスできる環境を目指します。自家用車以外の選択肢が増えることで、交通渋滞が緩和し、自家用車ユーザーにとっても移動しやすい環境を目指します。（※時速20km未満で公道を走る電動車を活用した移動サービス）

5 移動

バリアを感じず安全で安心して歩きたくなる

道幅の確保や段差の解消と併せて気軽に休憩できるベンチなどを充実することで、ベビーカーや車椅子でも安全で安心して歩きたくなる環境を目指します。



歩行者専用道路による歩車分離や、階段とスロープの併設、段差の解消などを行うことで、子どもや高齢者、ベビーカーや車椅子を利用する人にとっても安全に歩ける空間を目指します。併せて、歩行者が気軽に休憩できるようなベンチやテーブルを設置したり、夜間でも安心して歩けるように街灯を整備することで、物理的・心理的バリアが無く、歩きたくなる環境を目指します。

6 コミュニティ 世代・性別・国籍を超えたコミュニティの場と繋がりがあがる

多様な人が暮らす小山市の中で、世代や性別、国籍に関係なく、広く緩く気楽に繋がりを築くことができる寛容な環境を目指します。



同じ属性や嗜好を持つ人はもちろん、自分と異なる世代・性別・国籍の人と触れ合うことができるようなコミュニティの形成を図ります。様々な人や考えに触れることで、新たな知見や価値観を得られ、相互理解が進み、他者に対して寛容になれる多文化共生を促していきます。「しがらみ」ではなく「つながり」が持てる、心豊かにいられる環境を目指します。

7 緑化

身近に緑を感じリラックスできる

緑に対して様々な意識を持って効果的にまちなかを緑化していくことで、身近に緑を感じリラックスできる環境を目指します。



公園整備だけにとどまらず、屋上庭園や壁面緑化、市民農園、グリーンインフラなどの様々な機能を持つ緑を効果的に配置し、それらを面的に繋ぐ緑のネットワークを形成することで、まちなかのどこにおいても身近に緑を感じることができ、心地良く憩える環境を目指します。

8 自然

思川を活かし自然に触れて学んで暮らせる

市民生活に寄り添ってきた思川の魅力を活かし、自然との触れ合いを通して新たな学びやライフスタイルを生む環境を目指します。



小山と思川の歴史は長く、舟運による輸送、屋形船、流し雛や花火大会など様々な利用がなされ、市民の生活に寄り添ってきました。思川と周辺緑地の豊かな自然と景色を活かした自然教室やSUPのようなアクティビティを通して自然と触れ合うことで、時には学びの場として、時には遊びの場として、小山市民がそれぞれの思いを持ち、多様なライフスタイルを生み出していくことができる環境を目指します。

9 文化

小山の食・文化・アートに触れられる

小山市の料理や特産品、文化、アートが集まり、他にはない小山ならではの魅力を感じることができる環境を目指します。



小山市内の各地域や近隣で採れる食材を活かした料理・特産品、地域祭事、市出身アーティストの作品など、様々な食や文化、アートが集まり、影響を与え合うことで、新たな食の楽しみや独自の文化、創造性豊かなアートが生まれ、他にはない小山ならではの魅力を日常的に感じることができる環境を目指します。

PLAN OYAMA

Chapter 04

エリアの将来像

1. 思川エリア
2. 城山公園エリア
3. 御殿広場エリア
4. 祇園城通りエリア
5. 西口広場エリア
6. ロブレエリア
7. 東口広場エリア
8. 駅東公園エリア
9. 城東公園エリア

小山駅周辺エリアが2054年までに目指す姿を視覚的に共有するため、優先的にアクションに取り組むべき9つのスモールエリアの将来イメージを作成しました。

城山公園エリア



祇園城通りエリア



西口広場エリア



東口広場エリア



城東公園エリア



思川エリア



御殿広場エリア

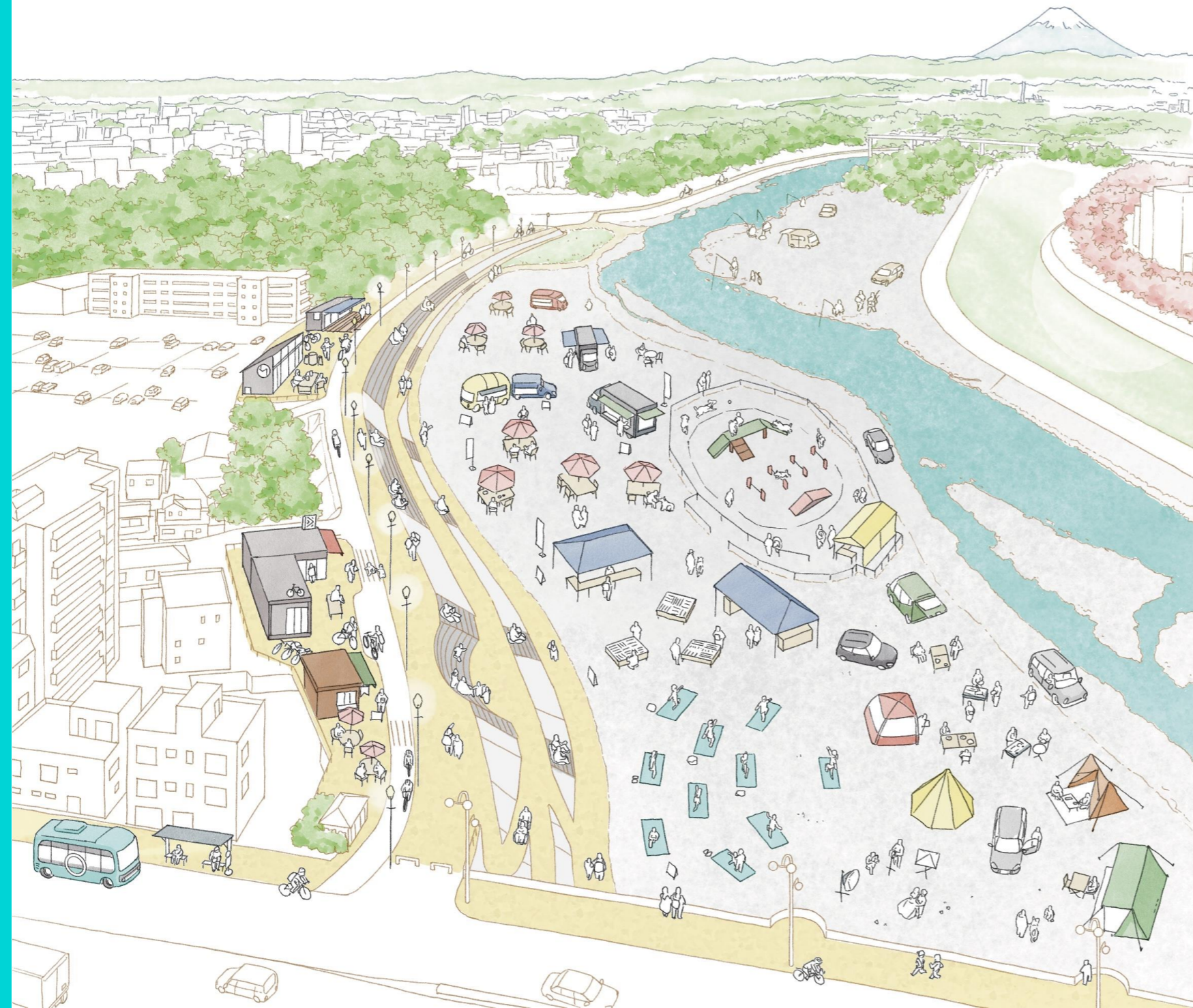


ロブレエリア



駅東公園エリア





Concept

小山市民の生活に寄り添ってきた、豊かな自然と美しい景色が魅力の思川をコアとするエリア。思川の魅力を活かし小山への愛着がより一層深まるような、市民が気軽に訪れ、遊び、憩える、居心地の良いエリアを目指します。

Project ideas

- ・カフェ等が開業できる仕組みの設計
- ・思川と小山総合公園を繋ぐサイクリングロードの整備
- ・スロープ整備等による水辺アクセス性の向上
- ・水遊びができる親水空間の創出
- ・イベント出店ができる制度の設計
- ・トイレを景観と調和するデザインに改修
- ・水辺アクティビティ事業の開業
- ・ゆったり過ごせる滞在空間の創出
- ・ドッグラン等による河川敷の活用
- ・ウェディング事業等の新規コンテンツの創出
- ・観覧橋のライトアップによる夜間来訪機会の創出
- ・景観と調和するデザイン性の高い照明の整備





Concept

思川左岸に隣接し、国史跡であり都市公園でもある、貴重な歴史資源と豊かな緑が魅力の城山公園をコアとするエリア。

史跡を活かしながら、思川との一体的な空間活用を行い、歴史と水と緑を感じられる学びと体験のエリアを目指します。

Project ideas

- ・カフェ等のゆったり過ごせる滞在施設の設置
- ・フェスやマルシェ等のイベント開催
- ・豊かな自然環境の保存
- ・城山公園と思川のアクセス性の向上
- ・サイン等による史跡情報の発信
- ・自然を活かしたキャンプ事業の開業



3. 御殿広場エリア



Concept

市役所北に隣接し、国史跡であり都市公園でもある、開放的な芝生広場が魅力の小山御殿広場をコアとするエリア。

史跡を活かしながら、まちなかの貴重なオープンスペースとしての機能を活かし、イベントやピクニックが楽しめる、日常の一部となるエリアを目指します。

Project ideas

- ・日常的に親子でピクニック等が楽しめる空間にする
- ・イベント時も活用できるサーカスの仮設テントのような休憩スペースの設置
- ・公園や店舗でペットと共に過ごせる仕組みの設計





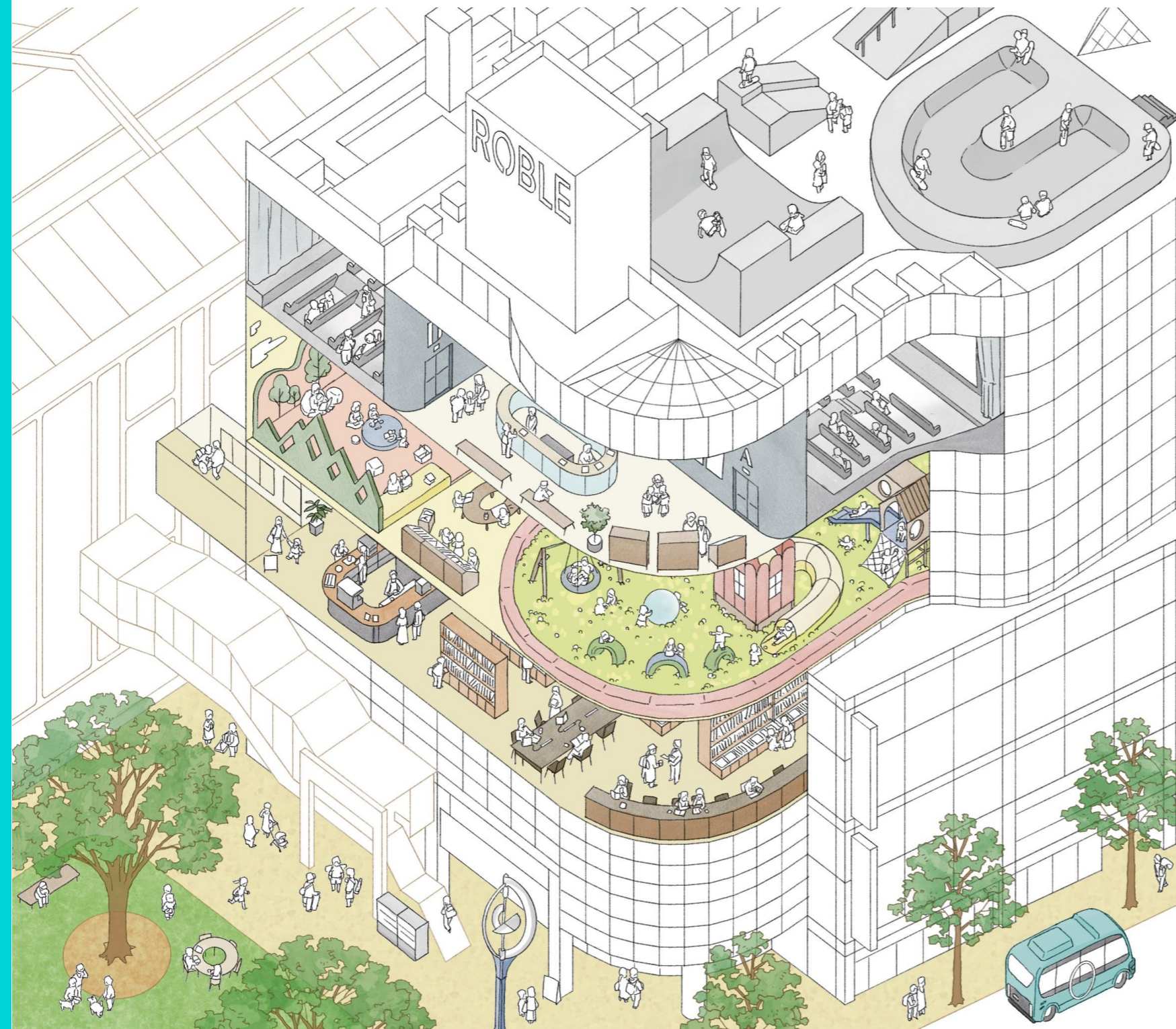
Concept

小山駅と、思川や城山公園、小山御殿広場を繋ぐメインストリートである祇園城通りをコアとするエリア。通りを軸にコンテンツが溢れ、歩行ストレスとなる障害が無く、植栽帯の充実により緑を感じる、居心地が良く歩きたくなるエリアを目指します。

Project ideas

- ・ベンチやパークレットを設置し親子で歩きたくなる空間を創出
- ・通り周辺の出店を促進する仕組みを設計
- ・歩行者天国の社会実験を実施
- ・通り周辺の空き店舗空き地を学生の遊び場に活用
- ・継続的に人の流れを生むためイベントを毎週開催
- ・緑化により居心地の良い空間を創出
- ・駅前区間の歩行者優先道路化により駅前から安心して歩ける空間を創出
- ・サイン等を設置し歩いて歴史を学べる空間を創出
- ・通りのライトアップによる夜間歩行機会の創出
- ・歩道に街路樹を増やし木陰を確保
- ・歩道を活用しストリートライブやパブリックアート等が楽しめる空間を創出
- ・横断歩道を増設し移動しやすい空間を創出
- ・グリーンスローモビリティの運行
- ・通り周辺の建物壁面緑化、屋上緑化
- ・上町交差点のスクランブル化
- ・通り沿いの駐車場を裏通りに配置転換
- ・通りに公衆トイレの設置
- ・交差点に信号待ちスペースの整備



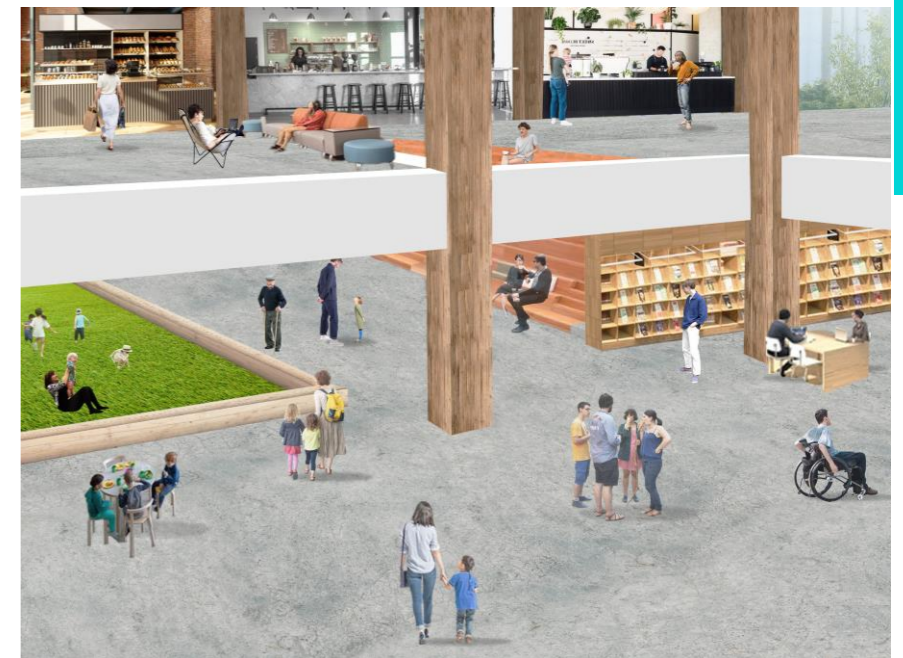


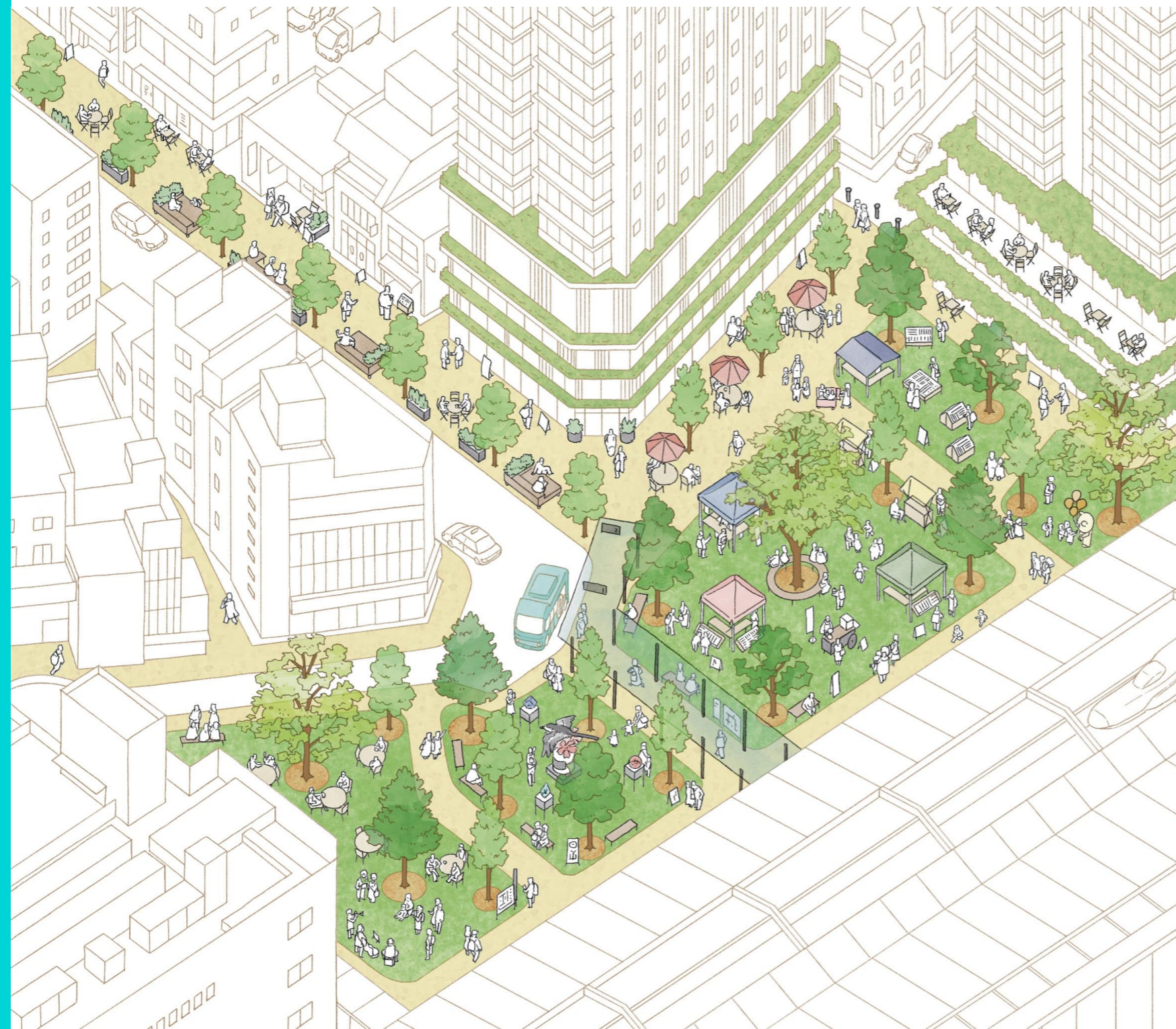
Concept

小山駅に接続する、小山の再開発ビル第一号である商業施設ロブレをコアとするエリア。駅直結のアクセス性を活かし、通勤通学者が利用しやすい子育て支援施設や遊び場、学習・ワークスペース等を充実することで、生活の拠点となるようなエリアを目指します。

Project ideas

- ・魅力的な飲食店や吹き抜けフロアの緑化等による高質空間の創出
- ・親子で行けるランチスポットや送迎ステーション、病児保育等の子育て関連施設を設置
- ・ロブレと駅を結ぶ通路のバリアフリー化
- ・ロブレ駐車場の改修による利便性の向上
- ・若い世代が楽しめるスケボーパーク等による屋上の活用
- ・カフェ等の飲食機能やコワーキングスペースを併設した複合図書館の設置





Concept

交通の要衝として小山の発展を支えてきた、多くの人が行き交う西口広場をコアとするエリア。車中心から人中心とした緑溢れる空間とすることで、駅を介して子どもから高齢者まで様々な人が集い・交わる、小山の玄関口を印象付けるエリアを目指します。

Project ideas

- ・バスの本数やルートへの拡充による市内移動の充実
- ・ベンチやテーブル等の設置による心地良い滞在空間の創出
- ・オープンテラスのあるカフェの充実
- ・定額制デマンドタクシーやシェアサイクル、電動キックボード等の多様な交通サービスの導入
- ・フィルムコレクション等の企画やパブリックアートにより身近にアートに触れられる機会を創出
- ・買い食いができる環境の創出
- ・保育園の散歩道を子どもの記憶に残る明るい空間にする
- ・自家用車進入規制による親子で安心して歩ける空間の創出
- ・オフィスビル誘致による雇用機会の充実





Concept

小山駅中央自由通路の開通をはじめ、大学やマンションなど、開発の進む東口広場をコアとするエリア。歩行者と自動車、公共交通の動線整理と併せて、駅利用者が滞在できる空間にすることで、安全で快適に移動でき、集いたくなるエリアを目指します。

Project ideas

- ・ 自家用車とバスのレーン入れ替えによるバス利用の安全性の向上
- ・ ペDESTリアンデッキ整備によるアクセス性や交通安全性の向上
- ・ 道の駅にあるような休憩スペースの創出
- ・ 文化交流施設の設置
- ・ 広場の緑化やカフェ等の滞在空間の充実による賑わい創出や治安の改善
- ・ 駐輪場の配置やデザイン、利便性の改善
- ・ 自家用車や公共交通、タクシーのゾーニング再構築





Concept

小山駅近くに立地し、汽車の展示や特徴的な遊具が魅力の駅東公園をコアとするエリア。

汽車を始めとする既存施設を活かした公園リニューアルと併せて、駅からの歩行アクセス性を改善することで、地域住民や学生、駅利用者が楽しめるエリアを目指します。

Project ideas

- ・適切な樹木剪定等により明るい雰囲気を作成
- ・既存遊具や汽車を活かし学生や駅利用者をターゲットとしたコンテンツが充実した公園にリニューアル
- ・柵や樹木配置の改善により安全性を確保しながら開放的な空間を創出
- ・公園北側街路の整備による安全な歩行空間の創出





Concept

住宅街に立地し、中央図書館や野球場・ストリートスポーツゾーン、豊かな緑が魅力の城東公園をコアとするエリア。

図書館へのカフェ併設やニュースポーツへの対応など、既存施設の機能を高める公園リニューアルを行い、地域の子どもから大人まで誰もが楽しめるエリアを目指します。

Project ideas

- ・図書館利用者や地域住民が過ごしやすい公園にリニューアル
- ・公園と一体感のある開かれた図書館にリニューアル
- ・ステージ城東のイベント活用
- ・気軽に立ち寄れるカフェを図書館に併設
- ・野球グラウンドを音楽フェス等の別用途で活用
- ・子どもが水遊びできる親水空間を整備
- ・通りからのアクセス性の改善
- ・バスケ等のストリートスポーツゾーンの充実





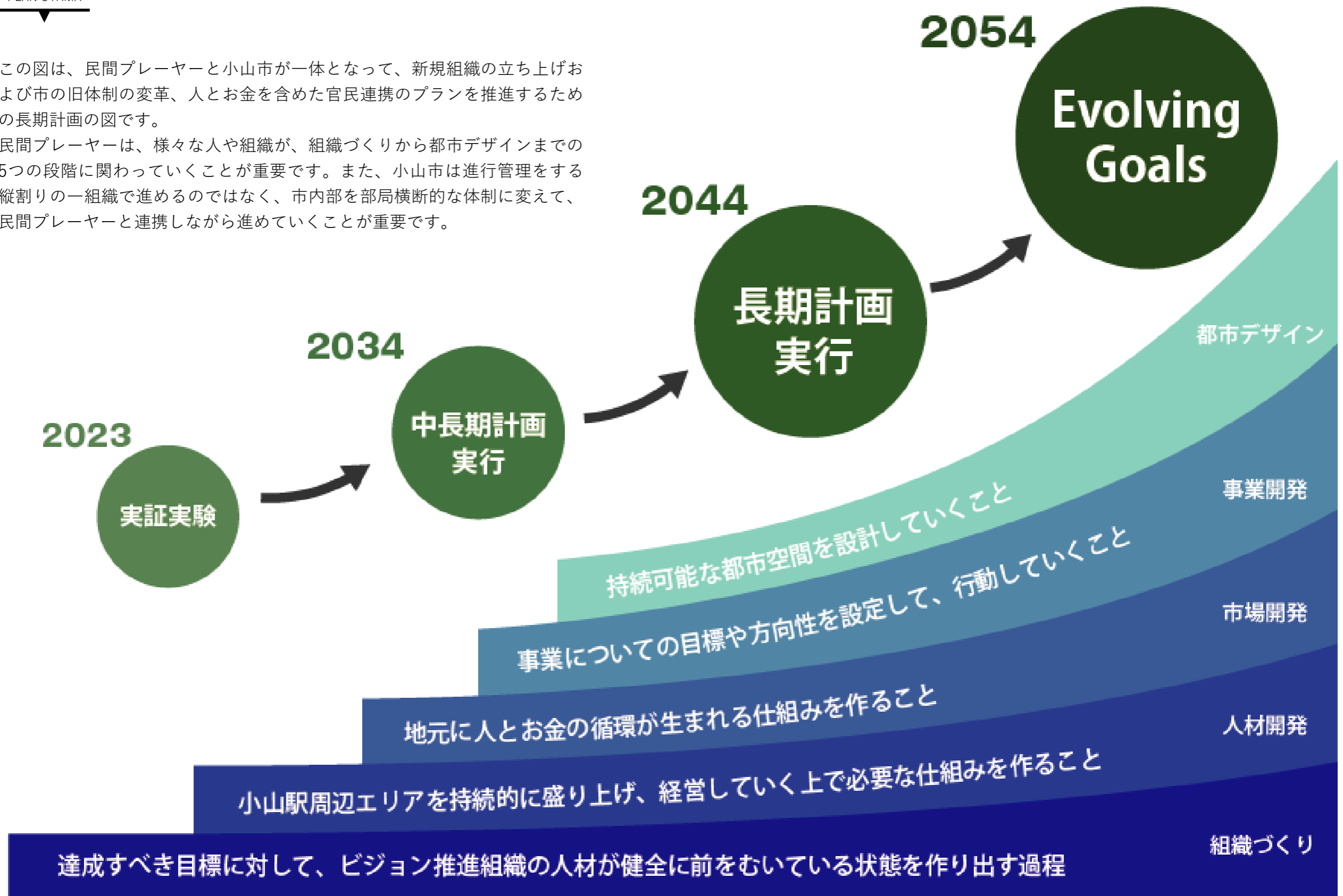
PLAN OYAMA

Chapter 05

ビジョンを実現するアクション
プラン推進組織の設立
EvolvingGoalsを達成する111のプロジェクト
リーディングプロジェクト
リーディングプロジェクトのロードマップ
検討委員会からのメッセージ

この図は、民間プレーヤーと小山市が一体となって、新規組織の立ち上げおよび市の旧体制の変革、人とお金を含めた官民連携のプランを推進するための長期計画の図です。

民間プレーヤーは、様々な人や組織が、組織づくりから都市デザインまでの5つの段階に関わっていくことが重要です。また、小山市は進行管理をする縦割りの一組織で進めるのではなく、市内部を部局横断的な体制に変えて、民間プレーヤーと連携しながら進めていくことが重要です。



組織づくり

組織づくりとは、達成すべき目標に対して、プラン推進組織の人材が健全に前を向いている状態を作り出す過程のことを指します。組織運営においては、掲げたビジョンに向かって組織一丸となってアクションを遂行することが求められます。組織づくりにおいては、以下の項目が特に重要です。

- ・ ビジョンの意味が各々に浸透している
- ・ ビジョン遂行における各々の役割が明確化されており指示系統が機能している
- ・ モチベーションを高い水準で保ち続ける

プラン推進の中心は、一人ひとりの市民の皆さんです。組織づくりを通して、まちの方向性を共有し、それ自体を自身のモチベーションとして動けるような人材を増やすことで、非常に強固な体制となります。

まちづくりプラン検討委員会



人材開発

人材開発は大きく2種類の目標があります。一つは小山駅周辺エリアを継続的に盛り上げる経営をしていく上で必要な人材の発掘、教育、支援の仕組みを作ることです。この仕組みに関わる人は、個人事業主、会社経営者、学生、行政職員、商店主など様々ですが、エリアを盛り上げるために地元の横の繋がりを強化し、地域から信頼され、長期的にプランの取り組みを支援してくれる人を増やし続けることが成功の鍵となります。

もう一つは、市内の企業がこれから必要とする新たな人材育成や誘致、そしてそれらのスキルや能力を習得するための学びや訓練の場の確保です。これには産官学連携、とりわけ小山工業高等専門学校や白鷗大学といった地元教育機関との関係づくり、特に企業の経営者と教育機関の経営陣との信頼関係の構築が不可欠となるでしょう。

おやま高校生まちづくりプロジェクト



市場開発

市場開発とは、地元にお金と人の循環が生まれる仕組みを作ることです。地元のマルシェや地産地消のカフェ、レストラン、地元企業が主催するイベントなどを戦略的に一年を通して企画することで小山駅周辺の賑わいを作り、継続的な人とお金の流れと循環を作ることが出来ます。また、マルシェの出店がきっかけとなり人気の出たお店が、街なかに実店舗を構え、その後他都市へと展開することで小山市に外貨を持ち帰ってくることもあるでしょう。そのような成長を支援するためには、多様な立場や得意分野を持ったプレイヤーが横の繋がりで頼りあったり、支え合ったり出来る地元のパートナーシップの構築が鍵となります。また、住む人、働く人にとって、行政的な境界線はそれほど重要ではありませんので、近隣の町のプレイヤーとの広域連携も視野に入れて活動しましょう。

思川リバーサイドマルシェ



事業開発

事業開発とは市内の既存企業や起業家の成長、事業改善の支援をすることで、市内雇用の維持、増進を支援することです。地元企業は法人税、住民税、雇用など様々な恩恵を与えてくれる貴重な存在ですので、年に2~3回は経営陣と会社の困り事や成功機会について話し合える場を設けましょう。また、まちづくりの一環として、戦略的に地元の課題解決と事業領域の拡張または新事業の開発を掛け合わせるにより、相乗効果を生むような取り組みを作っていくことも重要です。そのための規制緩和や政策提言をするに当たって商工会等と連携し民間企業の意見を纏めるのも事業開発の役割と言えます。そのほか、事業開発の一環として、栃木県、栃木市、下野市、結城市、野木町などの周辺都市と連携して、長期的にITC、医療機器、汎用機械製造等の小山市の強みとされる産業の企業誘致活動を地道に続けることも今後の雇用増進を考える上では重要な活動となります。

リノベーションまちづくり



都市デザイン

都市デザインとは、都市空間の魅力を創造するための手法です。都市は、長く使う場であるからこそ、そのデザインは持続可能で、しっかりとした軸が必要です。そのようなデザインとするためには、まちの気候風土、歴史、役割、ステークホルダー等を把握し、多くの人が希望を持ち、主体性を持ってまちづくりに参加していくことが必要です。

プランは、「民間と行政が共有する小山駅周辺エリアの長期ビジョンを示し、“自分ごと”としてまちづくりに取り組むための指針とすること」を目的としており、これを実践する行為が、都市デザインへと繋がります。

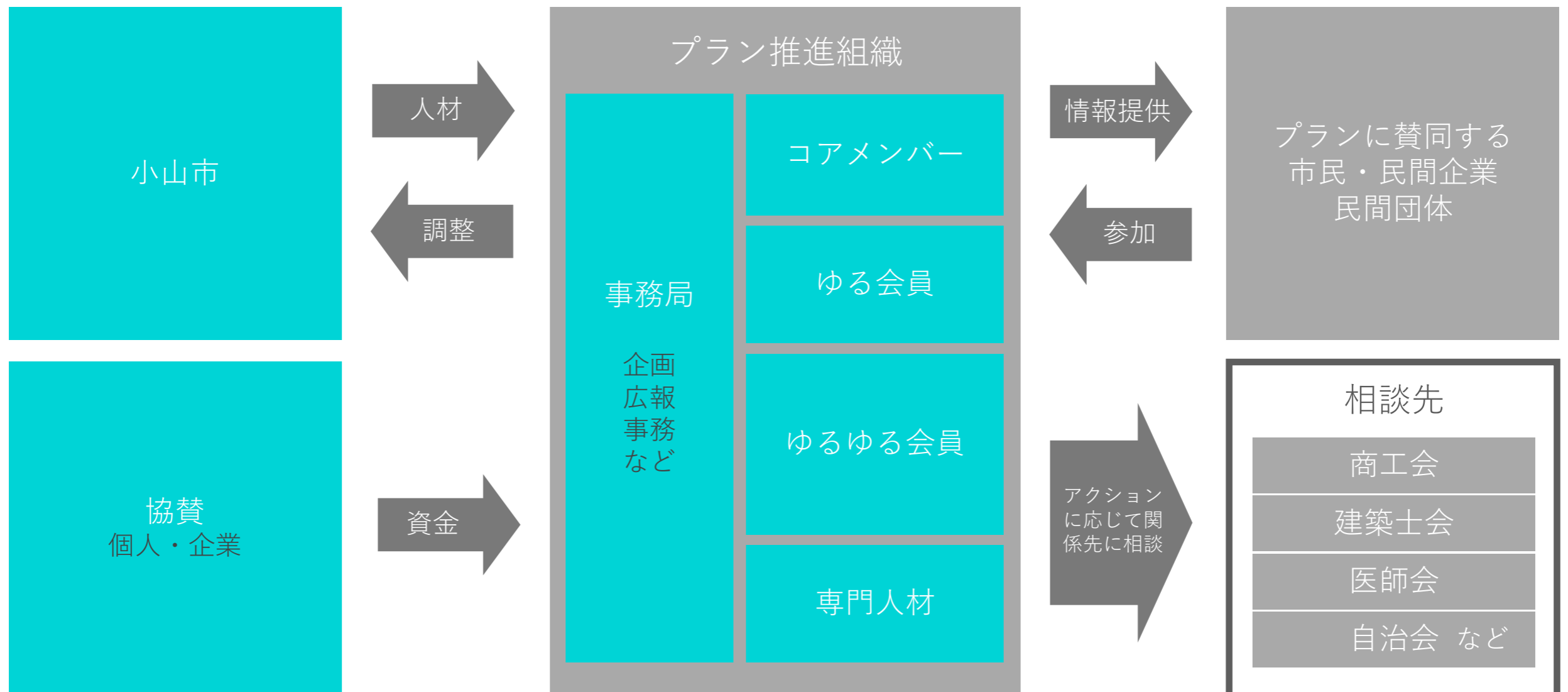
検討委員会デザインチャレット



プランを推進していくために、これまで検討委員会で議論した新たな組織体制のイメージを整理しました。プランを長期的に推進していくためには、行政の予算や組織に依存しない自立した組織体制を構築する必要があると考えています。また、継続的にまちづくりに参加する人材を確保していくために、個人でライフスタイルに合わせた関わり方を選択できるようなオープンで柔軟な組織であることも重要なポイントです。

プラン推進組織の役割

- ・継続的なプランの推進
：継続的なプランの議論・進捗管理／民間資本による自立した組織運営とすることで、継続的なプランの推進や柔軟な議論を誘発。
- ・エリア連携の強化
：民間同士、または市との情報交換・調整／各々の事業構想・経過・効果等の情報を共有し、エリア内の連携を強める。
- ・まちづくり参画の促進
：誰もが参加しやすい組織体制づくり・情報発信／まちづくりの“自分ごと”化を促し、多くの人にまちづくりに関わってもらう。



将来イメージの検討と並行して、どのようなアクションができるか、どのような場所にしていきたいかを検討しました。その過程で出たアイデアを優先度・実現性の観点で主観的に評価、グループ分けを行い、EvolvingGoalsの達成に向けた111個のプロジェクトアイデアとして整理しました。

優先度
・
実現性

Project ideas 111

| Group1

1. 御殿広場を日常的に親子でピクニック等が楽しめる空間にする
2. 東口広場の自家用車とバスのレーン入れ替えによるバス利用の安全性の向上
3. 市役所駐車場のフリンジパーキング化による駅前への自動車流入の抑制
4. 都市防災機能の充実
5. 祇園城通りにベンチやパークレット等を設置し親子でも歩きたくなる空間を創出
6. バスの本数やルートへの拡充による市内移動の充実

7. ベンチやテーブル等の設置による心地良い滞在空間の創出
8. 城山公園にカフェ等のゆったり過ごせる施設の設定
9. 城山公園でフェスやマルシェ等のイベント開催
10. 駅東公園の適切な樹木剪定等により明るい雰囲気形成
11. ロブレに魅力的な飲食店や吹き抜けフロアの緑化等による高質空間の創出
12. ベンチャー企業誘致による若者の雇用機会創出と定住促進

13. 駅前にオープンテラスのあるカフェの充実
14. 街灯設置による防犯性・安全性の向上
15. 歩道のバリアフリー化による歩行ストレスの解消
16. 祇園城通り周辺の出店を促進する仕組みを設計
17. 駅東公園を既存遊具や車を活かし学生や駅利用者をターゲットとしたコンテンツが充実した公園にリニューアル
18. 城山公園の豊かな自然環境の保存
19. 思川でカフェ等が開業できる仕組みの設計
20. 定額制デマンドタクシーやシェアサイクル、

- 電動キックボード等の多様な交通サービスの導入
21. 城山公園と思川のアクセス性の向上
22. 城東公園を図書館利用者や地域住民が過ごしやすい公園にリニューアル
23. 祇園城通りで歩行者天国の社会実験を実施
24. 無料で駐車しやすい駐車場の整備
25. 御殿広場にイベント時も活用できるサーカスの仮設テントのような休憩スペースの設置
26. 空き物件を活用したゲストハウス等の宿泊施設の開業

| Group2

27. 城山公園でサイン等による史跡情報の発信
28. 思川と小山総合公園を繋ぐサイクリングロードの整備
29. スロープ整備等による思川の水辺アクセス性の向上
30. 祇園城通り周辺の空き店舗空き地を学生の遊び場に活用
31. フリーWi-Fiスポットの整備
32. 外国人との交流機会の創出
33. 中央図書館を公園と一体感のある開かれた図書館にリニューアル
34. フィルムコレクション等の企画やパブリックアートにより身近にアートに触れられる機会を創出
35. ステージ城東のイベント活用
36. 継続的に人の流れを生むため祇園城通りでイベントを毎週開催

37. 南自由通路をアートや音楽で楽しく歩ける通路にする
38. 公園や店舗でペットと共に過ごせる仕組みの設計
39. 思川で水遊びができる親水空間の創出
40. 思川でイベント出店ができる制度の設計
41. 若者文化やコンテンツの発信拠点の創出
42. 祇園城通りの緑化により居心地の良い空間を創出
43. 旧南口自由通路に鉄道フォトスポットを抄出
44. 城山公園で自然を活かしたキャンプ事業の開業
45. ロブレに親子で行けるランチスポットや送迎ステーション、病児保育等の子育て関連施設を設置
46. 駅東公園の柵や樹木配置の改善により安全性を確保しながら開放的な空間を創出
47. 祇園城通り駅前区間の歩行者優先道路化により駅前から安心して歩ける空間を創出

48. 祇園城通りにサイン等を設置し歩いて歴史を学べる空間を創出
49. 防犯カメラ設置による防犯性の向上、治安の改善
50. 思川のトイレを空間と調和するデザインに改修
51. シェアキッチン・シェアスペース等による空き物件の活用
52. 祇園城通りのライトアップによる夜間歩行機会の創出
53. 気軽に立ち寄れるカフェを図書館に併設
54. 須賀神社参道を活用したイベント等の開催
55. 城東公園の野球グラウンドを音楽フェス等の別用途で活用
56. 歩道に街路樹を増やし木陰を確保
57. スケートボードパークの整備
58. 歩道を活用しストリートライブやパブリックアート等が楽しめる空間を創出
59. 西口広場周辺に買い食いができる環境の創出

60. 美術館の設置によるアートに触れられる環境の創出
61. 西口広場の保育園の散歩道を子どもの記憶に残る明るい空間にする
62. ロブレと駅を結ぶ通路のバリアフリー化
63. 城東公園に子どもが水遊びできる親水空間を整備
64. 城東公園の通りからのアクセス性の改善
65. 思川に空間と調和するデザイン性の高い照明の整備
66. 若い世代が楽しめるスケボーパーク等によるロブレ屋上の活用
67. ロブレにカフェ等の飲食機能やコワーキングスペースを併設した複合図書館の設置
68. 東口広場の駐輪場の配置やデザイン、利便性の改善
69. 東口広場の自家用車や公共交通、タクシーのゾーニング再構築

| Group3

70. 西口広場の自家用車進入規制による親子で安心して歩ける空間の創出
71. 思川で水辺アクティビティ事業の開業
72. 思川でゆったり過ごせる滞在空間の創出
73. 駅東西のアクセス性の改善
74. 空き地を活用したポケットパークの創出
75. ロブレ駐車場の改修による利便性の向上
76. 幸の湯周辺のウォーキングMAPの作成
77. ドッグラン等による思川河川敷の活用
78. 祇園城通りに横断歩道を増設し移動しやすい空間を創出
79. 線路沿いの道路の歩車分離による歩行安全性の向上
80. 東口広場のペDESTリアンデッキ整備による

- アクセシビリティや交通安全性の向上
81. 祇園城通りでグリーンスローモビリティの運行
82. 駅東公園北側街路の整備による安全な歩行空間の創出
83. 祇園城通り周辺の建物壁面緑化、屋上緑化
84. 上町交差点のスクランブル化
85. 祇園城通り沿いの駐車場を裏通りに配置転換
86. 市道235号線の歩行安全性の確保
87. 市民農園の設置
88. 転入者と住民が交流できる場を駅前に創出
89. 思川でウェディング事業等の新規コンテンツの創出
90. 城東公園にバスケット等のストリートスポーツゾーンの充実

91. 観覧橋のライトアップによる夜間来訪機会の創出
92. みつわ通りを歩行者天国化により楽しく歩きたくなる道にする
93. 祇園城通りに公衆トイレの設置
94. まちの駅裏の駐車場を屋台村のような店舗街にする
95. ストリートライブラリーの設置
96. 城山サクラコモン公園と近隣駐車場をイベント空間として一体的に活用
97. 西口広場周辺へのオフィスビル誘致による雇用機会の充実
98. ストリートスポーツ場の整備による気軽にスポーツが楽しめる環境の創出
99. 東口広場に道の駅にあるような休憩スペース

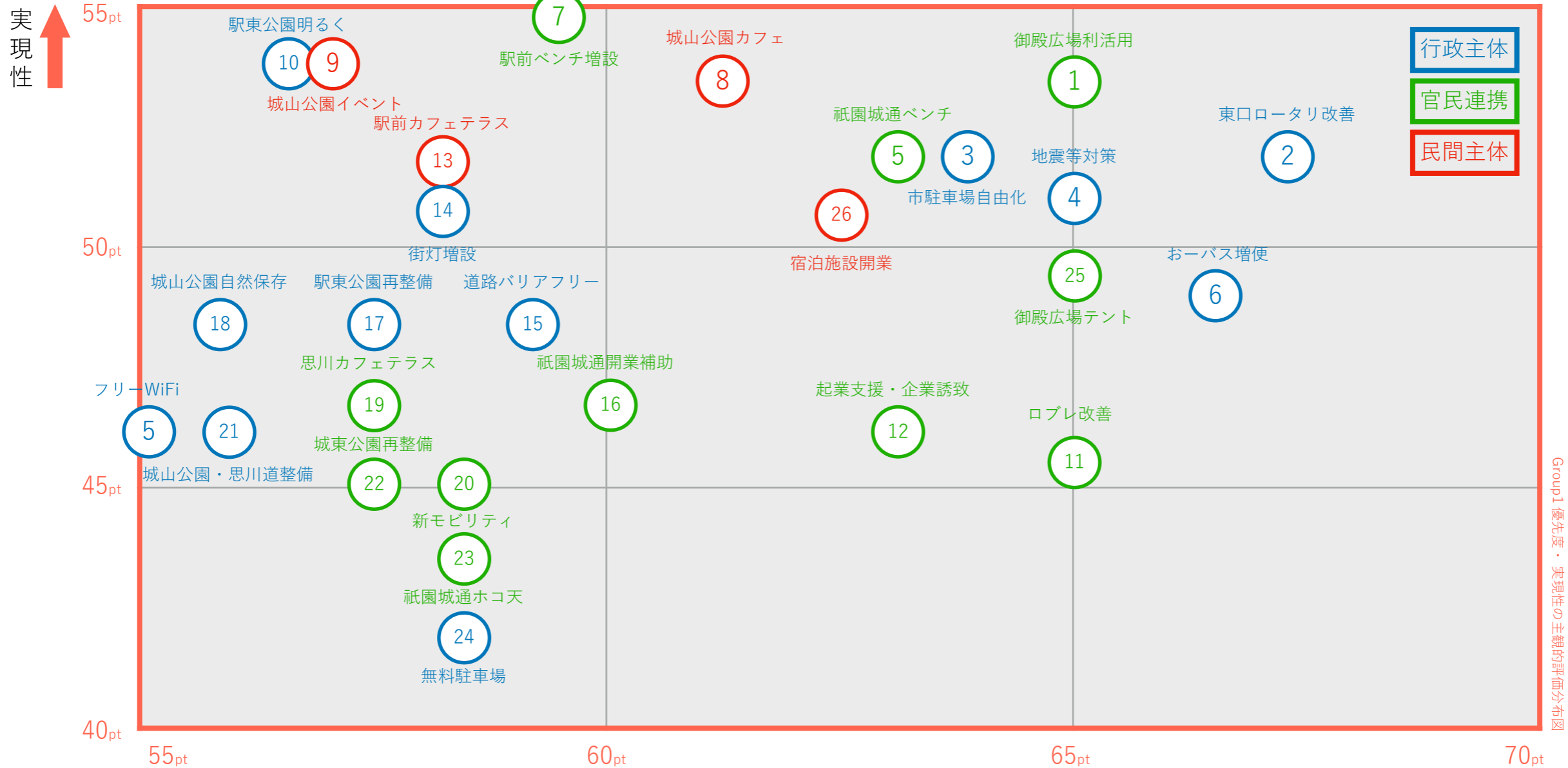
- の創出
100. 女性でも利用しやすい生涯学習施設の新設
101. 新幹線の本数増加
102. 高架線下の空間に飲食店が開業できる仕組みの設計
103. 東口広場に文化交流施設の設置
104. 三夜通りを歩行者専用道路化により安心して歩きたくなる道にする
105. 交差点に信号待ちスペースの整備
106. 東口広場の緑化やカフェ等の滞在空間の充実による賑わい創出や治安の改善
107. 空き物件を活用したラーメン博物館のような食のストリートの創出
108. 風俗街を市民に広くオープンな環境に改善
109. 駅東エリアの商店街の活性化

| Group4

110. 市役所駐車場の一部を市民農園として活用

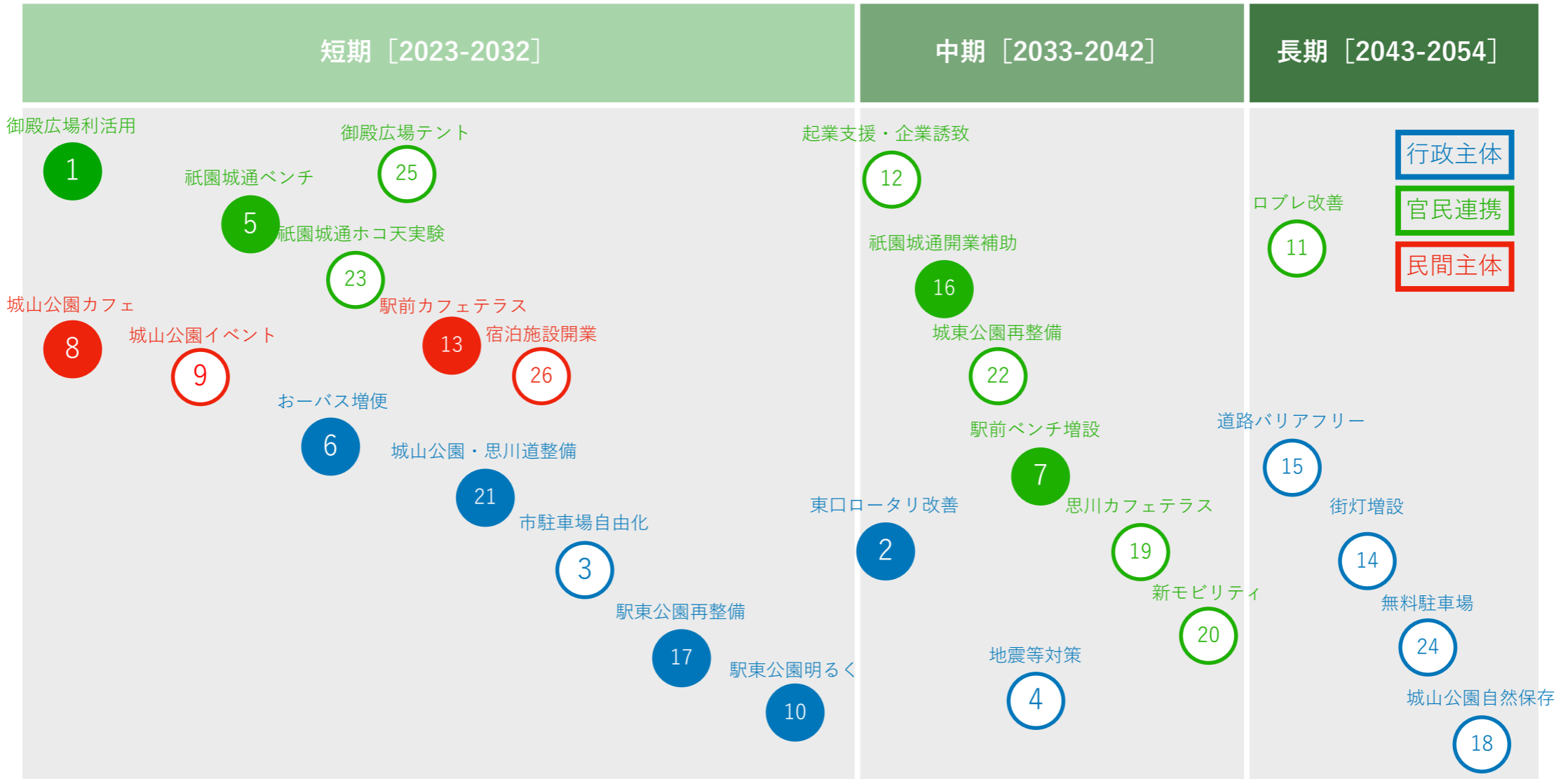
111. 三夜通り周辺に立体駐車場の新設

効果的にエリア価値を高めていくため、111個のプロジェクトアイデアのうち、特に優先度・実現性が高いGroup 1のプロジェクトをプランにおける“リーディングプロジェクト”と位置付け、各プロジェクトで想定される実施主体を設定しました。



- | | | | |
|-------------|-------------|-----------------|--------------|
| ① 御殿広場利活用 | ⑦ 駅前ベンチ増設 | ⑬ 駅前カフェにオープンテラス | ⑲ 思川カフェテラス |
| ② 東口ロータリー改善 | ⑧ 城山公園カフェ | ⑭ 街灯増設 | ⑳ 新モビリティ |
| ③ 市駐車場自由化 | ⑨ 城山公園イベント | ⑮ 道路バリアフリー | ㉑ 城山公園・思川道整備 |
| ④ 地震等対策 | ⑩ 駅東公園明るく | ⑯ 祇園城通開業補助 | ㉒ 城東公園再整備 |
| ⑤ 祇園城通ベンチ | ⑪ ロブレ改善 | ⑰ 駅東公園再整備 | ㉓ 祇園城通ホコ天実験 |
| ⑥ おーバス増便 | ⑫ 起業支援・企業誘致 | ⑱ 城山公園自然保全 | ㉔ 無料駐車場 |
| | | | ㉕ 御殿広場テント |
| | | | ㉖ 宿泊施設開業 |

リーディングプロジェクトのロードマップ



※数字が塗り潰しされているプロジェクトは実施済または実施中

- | | | | | |
|------------|------------------|--------------|------------|-------------|
| 1 御殿広場利活用 | 13 駅前カフェにオープンテラス | 2 東口ロータリ改善 | 20 新モビリティ | 11 ロブレ改善 |
| 3 市駐車場自由化 | 17 駅前公園再整備 | 4 地震等対策 | 22 城東公園再整備 | 14 街灯増設 |
| 5 祇園城通ベンチ | 21 城山公園・思川道整備 | 7 駅前ベンチ増設 | | 15 道路バリアフリー |
| 6 おーバス増便 | 23 祇園城通ホコ天実験 | 12 起業支援・企業誘致 | | 18 城山公園自然保存 |
| 8 城山公園カフェ | 25 御殿広場テント | 16 祇園城通開業補助 | | 24 無料駐車場 |
| 9 城山公園イベント | 26 宿泊施設開業 | 19 思川カフェテラス | | |
| 10 駅前公園明るく | | | | |



阿久津 治

Akutsu Osamu
阿久津産業(株)代表取締役
小山駅西口青年部活性化委員会 会長

このPLAN OYAMAでは、官民が共に垣根なく、まちの将来を考えるはじめての取り組みです。共に手をとればできないことはない！理想とする街に近づいてきたと思います。古き良きものを携えながら新しいことにチャレンジすることが大切だと思います。



福本 佳之

Fukumoto Yoshiyuki
(株) Vi Pass 代表取締役
小山商工会議所青年部 直前会長

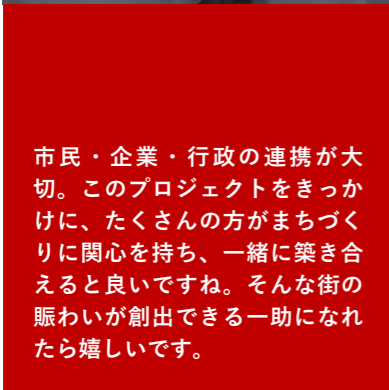
学習塾や学童保育を経営する中で「地域コミュニティの革新」が私のミッションです。まちづくりは人づくり。教育とまちづくりは未来の日本を創ることに繋がります。地域の人々が繋がりに「自分事」としてまちづくりに参画できるよう、微力ながら発信していきます。



速水 一成

Hayamizu Kazunari
ゴーイングファクトリー (株)
小山青年会議所 第52代理事長

青年会議所にも所属しており、シビックプライドを市民の人たちに醸成させていきたいと考えています。栃木県民は地元を卑下してしまいがちですが、言葉は魂で、リアルに反映されてしまうと思う。こういうところがあって素晴らしいと言えるようなまちにしていきたいです。



市民・企業・行政の連携が大切。このプロジェクトをきっかけに、たくさんの方がまちづくりに関心を持ち、一緒に築き合えると良いですね。そんな街の賑わいが創出できる一助になれば嬉しいです。



飯野 佳昭

Iino Yoshiaki
(株)グレイド 代表

2013年に『NEW STANDARD FROM OYAMA』という理念を掲げて小山駅西口にCafe FUJINUMAを開業しました。今まさにPLAN OYAMAでの活動が理念そのものだと感じています。自分達の街を自分達で面白くしていきます。



藤沼 英介

Fujinuma Eisuke
Café FUJINUMA (飲食店) 経営

広い芝生で子供達に元気いっばいに遊んでもらいたくて♡美味しいものがあって、ちょこっとお買い物できてワクワク笑顔溢れるピクニックマルシェみんなが待ち遠しくなる、記憶が残るイベントを作っていけたらいい♡特別な空間が日常になりますように☆



小林 千恵

Kobayashi Chie
ピクニックマルシェ実行委員会



柳 裕淳

Yanagi Hiroatsu
(有)銀星会館 取締役

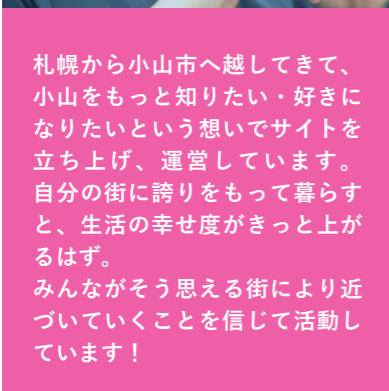
小山市内でエンタメに関わる仕事に携わりながら、もっとこの街でより魅力的に活発に文化に触れられる機会を増やせないかと模索してきました。行政や企業と手を携えながら、未来の“特別な街”づくりへの一助になりたいと、このプロジェクトに参加しています。



立堀 裕保

Tatebori Hiroyasu
豊職人 有立堀タタミ内装
小山駅西口商業振興会

「心地よいから」という理由で、人が集う街並み、空間が多くあるといいですね。プラプラと道を歩けば、足元には季節の花が咲き乱れ、歩き疲ればちょこんと座れる椅子やベンチが沢山ある。お店や家の中から外を見れば緑、緑、緑。そんな「心地よいから」が溢れていけば、いいなって思っています。



札幌から小山市へ越してきて、小山をもっと知りたい・好きになりたいという想いでサイトを立ち上げ、運営しています。自分の街に誇りをもって暮らすと、生活の幸せ度がきっと上がるはず。みんながそう思える街により近づいていくことを信じて活動しています！



長峰 沙織

Nagamine Saori
プログラマー、Webサイト運営

毎日、弊社タクシーやおバス等が市内を走り回っております。ウォークアブルシティを基本に、交通を含めた将来の魅力的で住みやすい小山駅周辺を作るためにどうすればいいか、日々考えております。今後もトータル的なまちづくりに携わってまいります。



渡邊 正道

Watanabe Masamichi
友井タクシー有限公司 専務取締役
城山町三丁目第二地区市街地再開発関係

PLAN OYAMA
Vision to 2054

PLAN OYAMA

Vision to 2054

Ver 1.0.0

2023.5